

## 専門(多肢選択式)試験問題

### 注意事項

- 問題は **105 題(112 ページ)** あります。次のとおり I 部、II 部及び III 部を合計して **40 題** を解答してください。
  - **I 部(必須)**  
No. 1 ~ No. 5 (**5 題**) は必須問題です。受験者全員が解答してください。
  - **II 部(選択 A、選択 B から一つ選択)**  
選択 A 又は選択 B のどちらか一つを任意に選択し、**15 題** を解答してください。  
答案用紙の「**選択**」の欄には、「**選択 A**」を選択した場合は「**a**」、「**選択 B**」を選択した場合は「**b**」をマークしてください。**マークされた一つの「選択」以外の問題は採点されません**ので、注意してください。  
選択 A (心理系) : No. 6 ~ No. 20 (**15 題**)  
選択 B (教育・福祉・社会系) : No. 21 ~ No. 35 (**15 題**)
  - **III 部(14 科目から 4 科目選択)**  
14 科目 70 題 (No. 36 ~ No. 105) から任意の 4 科目を選択し、計 **20 題** を解答してください。  
なお、4 科目を超えて解答しても超えた分については採点されません。(解答している問題番号に対応する科目が選択されたものと認定されます。どの科目を選択したかを答案用紙に記入する必要はありません。)
- 科目別構成の詳細は、この問題集の**裏表紙**に掲載されていますので、解答開始までによく読んでおいてください。
- 解答時間は **3 時間 30 分** です。
- この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
- 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはありませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
- 下欄に受験番号等を記入してください。

第 1 次試験地	試験の区分	受験番号	氏 名
	人間科学		

**指示があるまで中を開いてはいけません。**

## I 部(No. 1～No. 5)

I 部は**必須問題**です。これらの問題について、**全てを解答**してください。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 1】 青年期の特徴に関する記述ア～エのうち、妥当なもののみを挙げているのはどれか。

ア. R. J. ハヴィガーストは、人生のライフステージにおいて解決しておくべき心理社会的な課題を発達課題と呼んだ。彼は、青年期における発達課題として、社会的役割の獲得、体格の受容と有効な使用などがあるとした。

イ. 高校生頃になると見られる仲間関係をピア・グループといい、主に同性、同年齢の者の中で生じる。同一の興味や関心における一体感を重視し、互いの類似性や共通性を言葉で確かめ合うような行為が見られるようになる点が特徴である。

ウ. E. H. エリクソンは、人が世界や物事をどのように知覚、学習、思考するのかという認知機能に着目してライフサイクル論を提唱した。彼は、ライフサイクル論において、青年期の心理社会的危機を「勤勉性 対 劣等感」であるとした。

エ. 青年が大人の考えと自分の考えの違いに葛藤し、大人や社会に対して反抗的な態度を示す時期を第二次反抗期という。また、L. S. ホリングワースは、青年期に生じる親からの心理的自立の試みを心理的離乳と表現した。

1. ア、イ
2. ア、エ
3. イ、ウ
4. イ、エ
5. ウ、エ

【No. 2】 我が国の教育法規に関する記述A～Dのうち、妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。

- A. 日本国憲法において、すべて国民は、ひとしく、その能力に応じた教育を受ける機会を与えられなければならないとされ、人種、信条、性別、社会的身分、経済的地位又は門地によって、教育上差別されないとされ、国がその責任において、障害のある者が、その障害の状態に応じ、十分な教育を受けられるよう、発達上必要な支援を講じなければならないと定められている。
- B. 教育基本法において、法律に定める学校では、教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の心身の発達に応じて、体系的な教育が組織的に行われなければならないと定められている。この場合において、教育を受ける者が、学校生活を営む上で必要な規律を重んずるとともに、自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して行われなければならないと定められている。
- C. 教育基本法において、教育は、不当な支配に服することなく、同法律及び他の法律の定めるところにより行われるべきものであり、教育行政は、国と地方公共団体とが完全に独立して行われなければならないと定められており、国は、全国的な教育の機会均等と学力の維持向上を図るため、教育に関する施策を総合的に策定し、実施しなければならないとされている。
- D. 学校教育法において、義務教育の目標について定められており、その一つとして、学校内外における社会的活動を促進し、自主、自律及び協同の精神、規範意識、公正な判断力並びに公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことが掲げられている。

- 1. A
- 2. C
- 3. A、B
- 4. B、D
- 5. C、D

【No. 3】 次は、NPOに関する記述であるが、A、B、Cに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

我が国では1980年代頃から市民活動団体が増加していたが、そうした団体が容易に取得することのできる法人格制度がなく、多くは任意団体として活動していた。しかし、任意団体では団体名義での契約ができないなど活動に困難があることから、市民活動団体が容易に取得することのできる法人格制度の整備が検討されていた。そうした中、発生時、非常に多くのボランティアが被災地に駆けつけたことから市民活動の意義が広く認められ、これが契機となり1998年に (通称NPO法)が制定された。

同法の制定以降、NPO法人として法人格を取得する団体数は増加し、2014年度には累計の認証法人数が初めて5万団体を超えた。ただし、2000年代に入り公益法人制度改革が進められた結果、NPO法人よりも取得が容易なの法人格を取得する市民活動団体が増加している。また、解散するNPO法人も出てきており、近年ではNPO法人数は頭打ちとなっている。

A	B	C
1. 阪神・淡路大震災	特定非営利活動促進法	一般社団法人
2. 阪神・淡路大震災	特定非営利活動促進法	社会福祉法人
3. 阪神・淡路大震災	労働者協同組合法	社会福祉法人
4. 新潟県中越地震	特定非営利活動促進法	社会福祉法人
5. 新潟県中越地震	労働者協同組合法	一般社団法人

【No. 4】 我が国における児童虐待の現状と児童虐待防止法\*に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 平成 12 年、児童虐待防止法が成立し、児童虐待の定義が規定された。同法において「児童虐待」とは、「児童の身体に外傷が生じ、又は生じるおそれのある暴行を加える」身体的虐待、「児童にわいせつな行為をすること又は児童をしてわいせつな行為をさせる」性的虐待、「児童の心身の正常な発達を妨げるような著しい減食又は長時間の放置等、保護者としての監護を著しく怠る」心理的虐待の 3 種別である。
2. 平成 16 年、児童虐待防止法が改正され、児童虐待の定義が改められた。これにより、保護者以外の同居人による児童に対する身体的虐待、性的虐待及び心理的虐待を保護者が放置することが児童虐待に含まれることとされたほか、児童が同居する家庭で配偶者に対する暴力が行われること等、直接児童に対して向けられた行為ではなくても、児童に著しい心理的外傷を与えるものであれば児童虐待に含まれることとされた。
3. 児童相談所での児童虐待相談対応件数は、平成 12 年度は平成 2 年度の約 10 倍となったが、児童虐待防止法の施行とその後の数回の法改正により、児童虐待の予防や危機介入が積極的に行われたことから、平成 13 年度から平成 22 年度の間は横ばいとなり、その後の 10 年間は減少傾向にある。
4. 児童相談所での児童虐待相談対応件数において、虐待種別ごとの件数を比較した場合、児童虐待防止法が施行された後の平成 13 年度は心理的虐待が最も多かったが、次第に身体的虐待が増加し、平成 25 年度には逆転した。令和 2 年度では、身体的虐待が最も多く、相談対応件数全体の約 6 割を占めるに至っている。
5. 厚生労働省の調査によると、虐待による死亡事例のうち、「心中以外の虐待死」の 1 年間当たりの被害児童数は、同調査が開始された平成 15 年度以降、一貫して増加しており、令和元(2019)年度は 1,000 人を超えている。死亡には至らなかったものの身体的虐待等による生命の危険に関わる受傷の事例も増加傾向にあり、こうした状況から深刻な児童虐待の数は増加しているとされる。

\* 児童虐待の防止等に関する法律

【No. 5】 次は、調査における誤差に関する記述であるが、A～Fに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

調査において誤差がないということはありません、調査の際には誤差を小さくする努力が重要となる。調査に伴う誤差には、A と B の2種類がある。A は全数調査でも標本調査でも生じる調査過程での誤差であり、これについて客観的に評価することは難しい。B は標本抽出に伴う誤差であり、標本調査でのみ生じる誤差である。また B は、C を用いた場合には客観的に評価することが難しいが、D を用いて標本抽出を行った場合には、確率論や統計学理論によって客観的に評価することができる。

いま、大きさ  $N$  の母集団のうち、 $\textcircled{7}$ 群に属する人の母集団比率を  $\pi$  とする。この母集団から D によって大きさ  $n$  の標本を抽出し、そのうち  $\textcircled{7}$ 群に属する人の標本比率を  $p$  とする。このとき標本の大きさ  $n$  が十分に大きければ、標本比率  $p$  は、期待値  $E_p = \text{span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">E$ 、分散  $V_p = \frac{N-n}{N-1} \times \frac{\pi(1-\pi)}{n}$  の正規分布に近似的に従う確率変数となる。信頼係数 0.95(95%) のもとでは、標本比率  $p$  の F を 1.96 倍したものが母集団比率  $\pi$  の 95% 信頼区間の半幅となる。

	A	B	C	D	E	F
1. 標本誤差	非標本誤差	有意抽出法	無作為抽出法	$\pi$	標準偏差	
2. 標本誤差	非標本誤差	無作為抽出法	有意抽出法	$n\pi$	分散	
3. 非標本誤差	標本誤差	有意抽出法	無作為抽出法	$n\pi$	分散	
4. 非標本誤差	標本誤差	有意抽出法	無作為抽出法	$\pi$	標準偏差	
5. 非標本誤差	標本誤差	無作為抽出法	有意抽出法	$\pi$	分散	

## Ⅱ部(No. 6～No. 35)

Ⅱ部は**選択問題**です。**選択A(心理系)**、**選択B(教育・福祉・社会系)**のどちらか一つを任意に**選択し、15題を解答**してください。

答案用紙の「**選択**」の欄には、「**選択A**」を選択した場合は「**a**」、「**選択B**」を選択した場合は「**b**」をマークしてください。**マークされた一つの「選択」以外の問題は採点されません**ので、注意してください。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

No. 6～No. 20 はⅡ部選択A(心理系)です。

**選択A、Bのどちらか一つを任意に選択し、15題を解答してください。**

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 6】 次の記述のA～Dに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

人間の神経系は、大きく中枢神経系と末梢神経系に分けられる。中枢神経系は、更に大きく脳と脊髄に分けられる。末梢神経系は、主に感覚受容器から外界の知覚情報を受容し、運動指令を伝達して筋骨格系を動かし、外部環境と作用することに関わる **A** と、体内の内部環境の状態のモニターと調整(心拍、呼吸、分泌の調節等)に関わる自律神経系に分けられる。自律神経系は、種々の生理的パラメータを調節し、生体の内部環境の **B** 維持に関わる。自律神経系は解剖学的に交感神経系と副交感神経系の二つの系からできている。このうち **C** はエネルギーを蓄える方向の活動、例えば胃や腸の消化運動を促進することに関係する。**D** は、これら自律神経系の中枢として働く。

A	B	C	D
1. 体性神経系	ホメオスタシス	副交感神経系	視床下部
2. 体性神経系	ホメオスタシス	交感神経系	線条体
3. 体性神経系	バイオフィードバック	副交感神経系	線条体
4. 内分泌系	ホメオスタシス	副交感神経系	線条体
5. 内分泌系	バイオフィードバック	交感神経系	視床下部



【No. 7】 次の記述のA、B、Cに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

ただし、解答に使用する語句は必要に応じ、冠詞が付いたり、複数形になったりするものとする。

著作権の関係のため、掲載できません。

	A	B	C
1.	fMRI	EEG	ERP
2.	fMRI	ERP	EEG
3.	PET	EEG	fMRI
4.	PET	ERP	EEG
5.	EEG	PET	ERP

【No. 8】 心理学の諸理論に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. J. ロックは、観念の内容は経験によって作られるとして経験説の立場をとった。また、物質と精神を異なる実体とする心身二元論を唱え、「こころ」と「からだ」の間には観念の連合があるという連合主義には批判的な考えを示した。
2. 進化論の出現によって、動物行動の観察や人間と動物との比較が盛んに行われるようになった。C. ダーウィンは動物の誕生初期に見られる刷り込みを発見し、また、動物が示すパターンである本能行動を引き起こす信号刺激の性質を明らかにし、これらが適者生存の原理の一つであると発表した。
3. ゲシュタルト心理学において、体制化が簡潔・単純な方向に向かって起こる傾向のことをプレマックの原理という。K. レヴィンは、ゲシュタルト理論の基本的前提である力学的「場」の構想を、個人の生活空間をめぐる諸問題や集団行動の分野にまで拡張し、集団の没個性化の概念に導いた。
4. 新行動主義の立場である E. C. トールマンは、ラットの迷路学習から、学習を「刺激－反応間の連合の形成」とみなし、後に学習を認知地図の獲得という形で表現した。また、無報酬の場合にも、環境の認知的構造化によって観察学習が生じるとした。
5. 人間性心理学は、精神分析理論や行動主義の立場が人間の実存性や主体性を軽視しているとし、人間らしさの追求や人間の全体性、自由意志を尊重する立場をとる。C. R. ロジャーズの弟子であり、フォーカシングを提唱した E. T. ジェンドリンはこの立場に属している。

【No. 9】 次の記述のA～Dに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。  
ただし、Cには、㊦又は㊧のいずれかが入る。

著作権の関係のため、掲載できません。

A	B	C	D
1. trichromatic	cortical	Ⓐ	wavelengths
2. trichromatic	cortical	Ⓘ	cones
3. trichromatic	retinal	Ⓐ	cones
4. dichromatic	cortical	Ⓐ	cones
5. dichromatic	retinal	Ⓘ	wavelengths

【No. 10】 物体認識に関する記述ア～エのうち、妥当なもののみを挙げているのはどれか。

ア. J. J. ギブソン(Gibson, J. J., 1979)は、物体の脳内表現自体が視点に依存した観察者中心座標系を用いて、物体の構造を一般化円筒や一般化円錐に基づく生態学的知覚システムで記述することを提唱した。彼は物体の遮蔽輪郭を鋭い凸部によって分節化していくことで物体を構成する一般化円筒や一般化円錐の軸が得られることを示した。

イ. I. ビーダーマン(Biederman, I., 1987)は、物体は円錐や四角柱などの多様な形状のパーツであるジオンからなるとし、RBC理論を提案した。3次元モデル表現では、提示された視覚対象は、関連するジオンの情報を含む貯蔵された表現や構造モデルと照合され、それらのどれと最もよく適合するかで、その視覚対象が何であるかが認識されるとした。

ウ. H. H. ビュルトフら(Bülthoff, H. H. & Edelman, S., 1992)は、ペーパークリップオブジェクトと呼ばれる新奇物体を用いた実験を行った。彼らは、数個の限られた視点からの景観を元にして、中間の視点から見たときの景観を補間するという、物体認識の視点依存性を示した。

エ. S. パルマーら(Palmer, S. et al., 1981)は、日常物体を様々な方向から撮影した写真を用いた実験を行い、実験参加者が最も良いと評価する景観と、呼称課題の反応時間が最も長い景観とがよく一致することを示した。この景観における典型性の存在は2次元画像表現による物体表現理論との整合性が高く、典型性の高い景観には、真正面や真横からの景観がよく選ばれることから、物体の2次元構造の情報を多く含む景観が選ばれていることが示唆される。

1. ア、イ
2. ア、ウ
3. ア、エ
4. イ、ウ
5. イ、エ

【No. 11】 学習に関する記述ア～エのうち、妥当なもののみを挙げているのはどれか。

ア. E. R. カンデルら(Kandel, E. R. et al., 1991)は、アメフラシに対し、短時間のうちに刺激を繰り返し与え、その反応を観察した。その結果、無害な刺激には反応の程度が減少する弱化和有害な刺激には反応の程度が増大する鋭敏化の現象を確認した。こうした学習現象は非連合学習と呼ばれる。ヒトの場合、この非連合学習は、発達が進むにつれ次第に減弱化し、生後数か月間のうちに見られなくなる。

イ. J. B. ワトソンは、1羽ずつハトを実験箱に入れ、行動形態にかかわらず15秒ごとに餌を与えた。その結果、8羽のうち6羽のハトは餌を与えられる前に特定の行動を繰り返すことが観察された。ある行為の偶発的強化によってその行為が繰り返される現象を自動反応形成と呼ぶ。

ウ. I. P. パプロフは、イヌにメトロノームの音と餌を対提示して条件づけを行い、メトロノームの音で唾液を生じるようにした。その後、イヌに黒い図形を見せ、メトロノームの音を聞かせると唾液を分泌した。この手続を繰り返すと、図形を見せただけで、唾液を分泌するようになった。この現象は二次条件づけと言われる。図形は新たな条件刺激となり、メトロノームの音は餌が持っていた働きを代行するようになったと考えられる。

エ. R. A. レスコラ(Rescorla, R. A., 1968)は、ラットを使った実験で音と電気ショックの古典的条件づけをした。2群のうち、一つは対提示だけだったが、他方はさらに電気ショックだけの試行を何回か追加した。2群の間で対提示の数は変わらなかったものの、電気ショックだけの試行を追加した群で、条件反応である恐怖行動の表出が少なかった。この結果から、彼は条件づけにおける刺激の予報性を指摘した。

1. ア、イ
2. ア、ウ
3. イ、ウ
4. イ、エ
5. ウ、エ

【No. 12】 次は、自己効力感に関する記述であるが、A～Eに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

社会的学習理論を展開した A は、人が何らかの行動をとる際にもつ期待を、結果期待と効力期待の2種類に分けて考えた。結果期待とは、ある行動がある結果を導くであろうという期待であり、効力期待とは、その結果が生じるのに必要な行動を適切に遂行できるという期待を意味する。これらのうち、自己効力感とは個人によって知覚された効力期待を指し、個人の B として中核的な役割を果たす。自己効力感は、「遂行行動の達成」、「C」、「D」、「情動的喚起」の四つの情報源を通じて高められるとされている。このうち、「遂行行動の達成」は、実際に遂行して成功を体験することである。「C」は、成功している他者の行動を E することである。自己効力感は、人の行動変容のプロセスを合理的に説明し得る測定可能かつ操作可能な認知的変数で、臨床、教育をはじめ、あらゆる領域において重要な役割を担っている。

A	B	C	D	E
1. A. バンデューラ	信念	社会的参照	言語的説得	模倣
2. A. バンデューラ	信念	代理的経験	言語的説得	観察
3. A. バンデューラ	原因帰属	社会的参照	情緒的サポート	観察
4. R. W. ホワイト	信念	社会的参照	情緒的サポート	観察
5. R. W. ホワイト	原因帰属	代理的経験	言語的説得	模倣

【No. 13】 次は、感情に関する記述であるが、A～Eに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

感情の  に関する代表的な論者である J. A. ラッセルや L. F. バレット (Barrett, L. F. & Russell, J. A., 2014) によれば、事象に対するあらゆる感情的反応の本質としてあるのは、神経生理学的状態である  のみであり、これは  の2次元からなる。ここに、感情に関する概念や状況に基づく解釈などが加わることにより、喜びや怒りといった特定の感情が経験される。この理論では、カテゴリカルな感情知覚においては、概念的知識、すなわち言語が機能していると仮定される。

この点を実証するために K. A. リンクィストラ (Lindquist, K. A. et al., 2006) は、同一語を何十回も繰り返し復唱させる中で、一時的にその語の意味へのアクセス可能性を 、いわゆる意味飽和の手続をとった実験を実施した。怒りや喜びといった感情語を復唱させた後に表情写真を提示し、表情が感情語と一致しているかどうかの判断を求めた。この時、3回感情語を復唱させた条件よりも、30回感情語を復唱させた条件の方が、表情の判断が 。この結果により、表情写真から得られるカテゴリカルな感情知覚には言語が機能していることが分かった。以上のことから、感情を解説する際における概念的知識の介在が示唆される。

	A	B	C	D	E
1. 心理学的構成主義	コア・アフェクト	コア・アフェクト	快／不快と覚醒度	低下させる	遅くなった
2. 心理学的構成主義	コア・アフェクト	コア・アフェクト	外向性と神経症傾向	向上させる	遅くなった
3. 心理学的構成主義	アクションユニット	アクションユニット	快／不快と覚醒度	向上させる	速くなった
4. 基本情動理論	コア・アフェクト	コア・アフェクト	快／不快と覚醒度	低下させる	速くなった
5. 基本情動理論	アクションユニット	アクションユニット	外向性と神経症傾向	低下させる	遅くなった



【No. 14】 個人差に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. E. シュプラングァーは、心的エネルギーと呼ばれる人生における価値の置き方に焦点を当て、その価値の置き方により、外向型と内向型の基本類型を設定した。人生における価値が外界に向いているのが外向型で、自分自身の内界に向いているのが内向型である。価値の置き方が異なる人は、互いの意見がかみ合わず、理解し合うことが難しい。彼によれば、心的エネルギーの向かう方向は性別によって異なり、内向型は女性に多く、外向型は男性に多い類型とされる。
2. E. クレッチマーは、躁うつ病や統合失調症といった精神疾患と患者の体液の間に関連があると考え、その関連を一般的なパーソナリティにまで拡張した。彼によれば、体液は血液、黄胆汁、黒胆汁、粘液の4種に分類でき、それぞれの体液に特徴的な気質として循環気質、躁うつ気質、分裂気質、粘着気質という4類型が提唱されている。気質と体液の関連において、気質的特徴の生理的基盤としての体質は、同時に体液を形成する基盤ともなっている。
3. J. L. ホランドは、個人のパーソナリティや職業的興味は、現実的、研究的、芸術的、社会的、企業的、慣習的という六つの類型に分けることができると提唱した。彼の理論では、職業選択において自分のパーソナリティや興味と同じ類型に属する職業を選択することで、職業満足や職業上の安定性、業績などが高まるとされる。また、パーソナリティや興味の類型は、幼少期からの環境との相互作用によって形成されると考えられている。
4. W. H. シェルドンは、多くの男子大学生の体格を調べるのと同時に、特性記述用語を集めて整理し、体格と気質との関連を検討した。彼によれば、内胚葉から発生した消化器系統が発達している肥満型の人には控えめで過敏な気質をもち、中胚葉から発生した骨や筋肉が発達している筋骨型の人にはくつろぎや安楽を好む気質をもち、外胚葉から発生した神経系統や感覚器官が発達している細長型の人には大胆で活動的な気質をもつ傾向にある。
5. E. フロムは、現代社会における対人関係の中での不安に着目し、その不安に対する特徴的な防衛様式を社会的性格と呼んだ。彼の社会的性格は、受動的性格、搾取的性格、貯蔵的性格、市場的性格、生産的性格の五つの類型に分類される。これらの類型のうち、受動的性格、搾取的性格、貯蔵的性格、市場的性格を併せもつ人々は、後にタイプCパーソナリティと呼ばれるようになり、対人関係上のストレスを抱えやすいことが指摘されている。

【No. 15】 加齢の影響に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. K. W. シャイエは、異なる年齢の集団に同一課題を一度に実施し、各年齢の特徴を比較する系列法を用いて、知能の加齢変化に関する研究を行った。その結果、結晶性知能は中年期にも発達を続け、高齢期に入る頃まで発達すること、また流動性知能は40歳頃にピークを迎え、60歳代以降大きく低下するという知能の発達曲線が示された。これを「知能の古典的加齢曲線」と呼ぶ。
2. 高齢者の自伝的記憶を調査した研究によると、暦年齢31歳から40歳の頃の出来事に関する記憶頻度が高くなる現象が知られている。この現象は、レミニセンス・バンプと呼ばれる。こうした現象が生じるのは、この時期のライフイベントではストレス負荷がかかりやすく、ネガティブな情動を伴った記憶の方がポジティブな情動を伴う記憶よりも、より想起されやすいためとされている。
3. 高齢期には様々な心身の変化や社会環境の変化が生じるが、それらに適応しながら、幸福な老後を送り、人生を全うする生き方を「プロダクティブ・エイジング」と呼ぶ。幸福な老いを実現するための代表的な理論に社会情動的選択理論がある。この理論では、高齢者は引退後も様々な活動を多くの人と幅広く活発に行い、引退前の活動水準を維持することが望ましいと考えられている。
4. P. B. バルテスは、「補償を伴う選択的最適化理論(SOC理論：Theory of Selective Optimization with Compensation)」を提唱した。この理論では、高齢者は心身機能の低下によって、これまでの水準を維持できなくなった場合への対処として、これまでよりも狭い領域や特殊な内容を探索し(選択)、その狭い領域・特殊な内容に対する適応の機会を増やし(最適化)、機能の低下を補うための新たな方法や手段を獲得する(補償)ことが考えられている。
5. 加齢による視覚機能の変化の特徴として、近い距離の対象を正確に知覚する能力の低下以外にも、動いている物体を視覚的に認識する能力の低下が知られている。また、色彩の知覚では、白内障により視覚の白濁化が生じる。しかし、光刺激の変化への適応力(順応)や有効視野の狭小化については、加齢の影響を受けにくいことが知られている。

【No. 16】 次は、自己意識的感情(self-conscious emotions)に関する記述であるが、A～Dに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

著作権の関係のため、掲載できません。

A	B	C	D
1. てれ	M. ルイス	選好注視法	イ
2. てれ	M. ルイス	ルージュ・テスト	ア
3. てれ	R. L. ファンツ	選好注視法	ア
4. 喜び	M. ルイス	選好注視法	ア
5. 喜び	R. L. ファンツ	ルージュ・テスト	イ

【No. 17】 次は、二元のクロス集計表に関する記述であるが、A～Dに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

ただし、Cには、㊦又は㊧のいずれかが入る。

二つの質的変数のそれぞれのカテゴリの組合せ(セルと呼ぶ)に該当する度数を表に整理したものを、二元のクロス集計表という。このクロス集計表を活用し、二つの質的変数の間の A を検討する検定法として  $\chi^2$  検定がよく用いられる。なお、この検定は B 検定に分類されるものである。

この検定における検定統計量には、実際に集計されたデータである「観測度数」と、二つの質的変数間に連関がないとする場合に得られる理論値である「期待度数」との全体的なずれを表す  $\chi^2$  統計量を用いる。 $\chi^2$  統計量は、「C の全セルについての和」で求めることができる。

また、このような二つの質的変数の間の連関の強さを表す指標として連関係数があり、 $2 \times 2$  のクロス集計表の場合には、D 係数が用いられる。

Cの候補

$$\text{㊦} : \frac{(\text{観測度数} - \text{期待度数})^2}{\text{期待度数}}$$

$$\text{㊧} : \frac{(\text{期待度数} - \text{観測度数})^2}{\text{観測度数}}$$

A	B	C	D
1. 独立性	ノンパラメトリック	㊦	ファイ( $\phi$ )
2. 独立性	ノンパラメトリック	㊧	コーエンのカップ( $\kappa$ )
3. 独立性	パラメトリック	㊦	コーエンのカップ( $\kappa$ )
4. 交互作用効果	ノンパラメトリック	㊧	コーエンのカップ( $\kappa$ )
5. 交互作用効果	パラメトリック	㊦	ファイ( $\phi$ )

【No. 18】 次は、 $t$ 検定に関する記述であるが、A～Dに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

ただし、解答に際しては、次の $t$ 分布表を参照すること。

高校生において、ある教授学習法(X)による学習を行うことが、既存の教授学習法(Y)を行うよりも学習効果が高いと分かっている。中学生でもXによる学習効果が高いなら、学校教育に導入したいので、中学生の2群間のテスト成績の平均値を比較することで検証した。今回の実験における検定は  検定となる。今回の検定における帰無仮説は「X群の平均値はY群の平均値以下である」とし、対立仮説は「X群の平均値はY群の平均値よりも高い」とした。また、有意水準  は5%とした。

$t$ 検定を行った結果、検定統計量 $t$ は $t = 2.07$ 、 $df = 20$ であった。臨界値は  であることから、今回の実験において帰無仮説は  。

著作権の関係のため、掲載できません。

	A	B	C	D
1. 片側		$\alpha$	1.725	棄却される
2. 片側		$\alpha$	2.086	棄却されない
3. 片側		$(1 - \beta)$	1.725	棄却されない
4. 両側		$\alpha$	1.725	棄却されない
5. 両側		$(1 - \beta)$	2.086	棄却される

【No. 19】 表1は、P. スティールら(Steel, P., Schmidt, J. A. & Shultz, J., 2008)によるパーソナリティ特性と主観的幸福感との関連をメタ分析によって検討した結果の一部である。表1に示された結果に基づいて行われた相関係数  $r$  の解釈に関する記述A～Dのうち、妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。

ただし、有意水準は5%とし、表1における相関係数の解釈は表2を参考とすること。

著作権の関係のため、掲載できません。

- A. 相関係数は2変数の共分散をそれぞれの分散で除して計算され、-1から1までの範囲をとり、相関係数が負の値であるときには曲線関係にあることを示す。すなわち、外向性とネガティブ感情との間には有意な負の相関関係( $r = -.18$ )があるため、外向性とネガティブ感情との間には曲線関係があることを示唆する。
- B. パーソナリティ特性の中から神経症傾向に着目すると、ネガティブ感情との間の相関関係( $r = .54$ )が最も強い。つまり、神経症傾向以外のパーソナリティ特性とネガティブ感情との関連を統制しても神経症傾向がネガティブ感情と関連しており、神経症傾向の高さがネガティブ感情の高さを引き起こす原因といえる。
- C. 表1中に記載された相関係数のうち、開放性とネガティブ感情との間の相関係数( $r = -.02$ )は有意でなかった。また、開放性とその他の主観的幸福感に関する諸変数との相関係数の値も小さく、統計的に有意な相関であっても、相関関係はほとんど見られないと考えられる。
- D. 開放性において、ハッピーネス及び生活満足感との間の相関係数を比べると統計的有意差が見られ、ハッピーネスとの間の相関係数( $r = .13$ )の値は生活満足感との間の相関係数( $r = .03$ )の値よりも高い。また、相関係数は比率尺度上の値であり、開放性とハッピーネスとの間には開放性と生活満足感との間よりも約4倍強い相関関係があるといえる。

1. C
2. D
3. A、B
4. A、D
5. B、C



【No. 20】 尺度作成に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 尺度の項目について、別の構成概念の測定値と低い相関を示すかどうか、という観点から検討される評価を、生態学的妥当性という。生態学的妥当性の検討には効果量という推定量を用いる。様々な妥当性についての条件がどの程度満たされているかを実際に調べることにより、尺度の妥当性が評価される。
2. 時間を越えた一貫性を検討する場合、実際に測定を繰り返してその相関を調べる方法を、再検査法という。この作業は「時間をおいて繰り返し測定しても結果は安定しているか」という点に注目しており、妥当性の検証のために行われる。再検査法では、練習効果が生じるため、2度目の測定時には代替の尺度を用いる。
3. クロンバックの $\alpha$ 係数は、いくつかの項目の合計点(あるいは平均値)を尺度得点とする場合、それらの項目がどの程度一貫して同じ特性を測定しているかを反映する指標である。この指標は信頼性係数の推定値として利用される。 $\alpha$ 係数は尺度に含まれる項目数、各項目得点の分散、合計得点の分散から算出される。
4. 尺度を構成する項目について、同一又は類似した構成概念を測っていると考えられる他の変数との間に高い相関があるか否か、という観点から検討される妥当性の側面を、表面的妥当性という。表面的妥当性は、同じ特性を異なる方法で測定した際の得点との相関などにより検証し、その得点の測定には隠匿情報検査が用いられる。
5. 「まったく当てはまらない」、「あまり当てはまらない」、「どちらともいえない」、「やや当てはまる」、「とても当てはまる」という五つの選択肢の中から回答者が一つを選択する方法を、観察法という。尺度には、ある項目に当てはまるほどその特性が低いことを意味する内容の項目を含めることがあり、これをダブルバーレルと呼ぶ。

No. 21～No. 35 はⅡ部**選択B(教育・福祉・社会系)**です。

**選択A、Bのどちらか一つを任意に選択し、15題を解答**してください。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 21】 我が国のいじめの現状及び対応に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. いじめ防止対策推進法において、「いじめ」とは、自分より弱い者に対して一方的に、身体的・心理的な攻撃を継続的に加え、相手が深刻な苦痛を感じているものであって、学校としてその事実を確認しているものと定義されている。いじめの定義が変更される都度、その認知件数は大きく変動しているが、文部科学省の調査\*の開始以降、令和2年度まで、小・中・高等学校及び特別支援学校におけるいじめの認知件数は、毎年一貫して増加し続けている。
2. いじめ防止対策推進法において、「児童等は、いじめを行ってはならない。」と定められている。いじめの禁止が明文化されたことによって、児童等のいじめの本質についての理解や、学校教育等の現場におけるいじめ禁止の指導の促進が期待されている。さらに、同法律には、いじめに対する罰則も設けられており、同法律に違反した児童等に対しては罰則が科されることが定められている。
3. 文部科学省は、いじめの認知件数が多い学校について、「いじめを初期段階のものも含めて積極的に認知し、その解消に向けた取組のスタートラインに立っている」と肯定的に評価している。令和2年度の文部科学省の調査\*において同年度中にいじめを認知していない学校に対して、文部科学省は、いじめの認知件数が0件であったということを見出し、児童生徒や保護者向けに公表し、検証を仰ぐことで、認知漏れがないかを確認するよう指示している。
4. GIGA スクール構想が進展する中、端末等を使ったいじめが発生する可能性があることにも留意が必要とされており、学校における情報モラル教育の一層の充実が図られている。令和2年度の文部科学省の調査\*によると、小・中・高等学校及び特別支援学校におけるインターネット上のいじめの認知件数は、近年減少傾向にあるものの、高等学校においては、いじめの態様別状況のうち、インターネット上のいじめが最も多くの割合を占めている。
5. 『令和4年版 子供・若者白書』によると、いじめの発見のきっかけは、「本人からの訴え」が最も多く、全体の5割以上を占めている。文部科学省が策定した「いじめの防止等のための基本的な方針」においては、いじめを受けた児童等に対して事実関係の聴取を行う際、いじめを受けた児童等にも原因があることを念頭に置き、いじめの背景にも目を向け、児童等の安心・安全、健全な人格の発達に配慮した支援を行うこととされている。

\* 「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

【No. 22】 学力に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 1977年改訂の学習指導要領では「ゆとりと充実」をスローガンに掲げ、「総合的な学習の時間」が創設された。一般に「ゆとり教育」と呼ばれる施策は2010年代まで続き、授業数や教育内容の削減がなされ、この間、定期的に行われていた「全国学力・学習状況調査」も廃止された。その結果、子供の基礎・基本となる知識の習得がおろそかになったという批判を招いた。
2. 1990年代後半から2000年代において、我が国では「学力低下論争」と呼ばれる議論が起こった。文部科学省の調査<sup>\*1</sup>を基に子供の学力格差の拡大が指摘され、2003年のPISA調査<sup>\*2</sup>における我が国の「数学的リテラシー」はOECD平均を下回った。その一方で、子供の学習意欲は上昇し、同調査における「学ぶ意欲」、「学校以外の勉強時間」のいずれもがOECD平均を上回った。
3. 2000年代に掲げられた「確かな学力」は、学ぶ意欲や主体的に判断する資質・能力を学力には含めず、知識・技能の「習熟・定着」を目指して規定された。この「確かな学力」の育成を目的とする「学力向上フロンティア事業」が首都圏を対象に実施され、少人数指導や習熟度に応じた指導などの各学校の授業改善が図られた。
4. 現在の学力に関する主要な概念の一つである「コンピテンシー」は、単なる知識や技能だけでなく、態度や価値観なども含むとされている。特にOECDによる「キー・コンピテンシー」は、「相互作用的に道具を用いる力」、「異質な集団で交流する力」、「自律的に行動する力」の三つのカテゴリーで構成され、様々な文脈や場面で活用可能とされている。
5. 現行学習指導要領<sup>\*3</sup>では、学力を支える資質・能力の三つの柱として、「個別の知識・技能」、「考え抜く力」、「学びに向かう力、人間性等」が示されている。また、「個別の知識・技能」の中に「情報活用能力」が位置付けられ、プログラミングの基礎的な技能を身に付けることを目的とした科目「プログラミング」が小学校で新設されて必修化された。

\*1 平成13年度小中学校教育課程実施状況調査

\*2 OECDにおいて実施している、生徒の学習到達度調査

\*3 平成29年告示の幼稚園教育要領、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領、特別支援学校幼稚部教育要領、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領、平成30年告示の高等学校学習指導要領及び平成31年告示の特別支援学校高等部学習指導要領

【No. 23】 就学前教育を行う施設に関する記述A～Dのうち、妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。

- A. 保育所は児童福祉法上の児童福祉施設である。設置者は地方公共団体と社会福祉法人のみとされており、0歳から入所できると定められている。一方で、幼稚園は学校教育法上の学校である。設置者は国・地方公共団体・学校法人のみとされており、満4歳から小学校就学の始期に達するまでの幼児が入園できると定められている。
- B. 幼保連携型認定こども園は、子ども・子育て関連三法の成立に伴い幼稚園と保育所双方の機能を保有している単一の施設として法的に位置付けられた就学前教育施設である。施設の設置の認可や事業に関する指導監督は、都道府県知事(指定都市等所在施設の場合、当該指定都市等の長)が行うこととなっている。
- C. 幼保連携型認定こども園での教育・保育内容の基準は、乳幼児の発達に応じて定める必要があることから、各園が独自に定めることとなっている。各園は、この基準を「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」として毎年度地方公共団体に提出することとなっている。
- D. 幼保連携型認定こども園制度の成立以降、義務教育との接続が乳幼児の保護者の間で意識されるようになったことで、就学前教育の需要が高まり、幼稚園と保育所の数が増加傾向となった。しかし、需要が施設の供給を上回っており、我が国の待機児童数は継続的に増加している。

- 1. B
- 2. C
- 3. A、B
- 4. A、D
- 5. C、D

【No. 24】 次は、カリキュラム又は教育課程に関する記述であるが、A～Dに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

- 学習指導要領は、グローバル化や急速な情報化、技術革新など、社会の変化を見据えて、子供たちがこれから生きていくために必要な資質や能力について教育課程の見直しを行うために、およそ10年ごとに改訂されており、改訂に当たっては、A から、中央教育審議会に対して諮問がなされ、その答申が踏まえらる。
- 学校生活において子供が学び取っていることは、時間割や指導計画に代表されるような明示的に組織されたカリキュラムよりも多くの内容を含んでいるが、このように、明示的に組織されることなく、子供の価値観や態度、行動様式の形成に影響を与えるカリキュラムのことをB という。
- 何をもって教育課程を履修したと判断するかについて、C では、被教育者は所定の課程を履修して、目標に関して一定の成果を上げることが求められており、教育目標の設定においては、被教育者が多数であっても、一定の水準以上の履修成果を、できるだけ多くの者が示すように期待されている。
- カリキュラムの代表的な開発様式のうち、J. M. アトキンによって命名されたD では、一般的目標を設定し、創造的な教授・学習活動の中で教材の価値を発見し、一連の教育活動で生成された現象を記述し、質的な評価を行うことでカリキュラムが開発される。

A	B	C	D
1. 内閣総理大臣	ヒドゥン・カリキュラム	履修主義	羅生門的アプローチ
2. 内閣総理大臣	ヒドゥン・カリキュラム	履修主義	工学的アプローチ
3. 内閣総理大臣	コア・カリキュラム	履修主義	羅生門的アプローチ
4. 文部科学大臣	ヒドゥン・カリキュラム	修得主義	羅生門的アプローチ
5. 文部科学大臣	コア・カリキュラム	修得主義	工学的アプローチ

【No. 25】 我が国の福祉と人権に関する法制度及び現状についての記述として最も妥当なのはどれか。

1. ハンセン病患者については、明治 40(1907)年に制定されたらい予防法に基づき、療養所への入所が促進され、患者の隔離政策が進められた。その後有効な治療薬が開発され、ハンセン病の治療法が確立されたことを受けて、昭和 23(1948)年にらい予防法は廃止されるとともに、ハンセン病問題の解決の促進に関する法律が制定された。同法に基づき、患者であった者への慰謝と補償金の支払が平成 8 (1996)年までに行われた。
2. 障害者差別解消法<sup>\*1</sup>は、障害を理由とする差別の解消を推進することを目的として昭和 56 (1981)年に制定された。同法において、国及び地方公共団体は、障害を理由として障害者でない者と不当な差別的取扱いをすることにより、障害者の権利利益を侵害してはならないと規定されているが、民間企業には義務が課されておらず、同法の対象外となっている。
3. 障害者虐待防止法<sup>\*2</sup>において、障害者虐待は、養護者による障害者虐待と使用者による障害者虐待の二つとされている。使用者による障害者虐待には、身体的虐待、性的虐待、心理的虐待、経済的虐待の種別があり、厚生労働省の調査によると、令和 3 年度において虐待が認められた障害者数が最も多いのは、身体的虐待である。
4. 高齢者虐待防止法<sup>\*3</sup>において、市町村長は、養護者による高齢者虐待により高齢者の生命又は身体に重大な危険が生じているおそれがあると認めるときは、立入調査や警察署長に対する援助要請を行うことができると規定されている。同法において「養護者」とは、高齢者を現に養護する者であって養介護施設従事者等以外のものをいい、市町村は、養護者の負担の軽減のため、養護者に対する相談、指導及び助言その他必要な措置を講ずるものと規定されている。
5. 厚生労働省の調査によると、令和 2 年度において、養護者による高齢者虐待は、夫による虐待が約 5 割で最も多く、次いで息子による虐待が約 2 割、妻による虐待が約 1 割となっている。また、養護者による障害者虐待は、夫による虐待が約 4 割で最も多く、次いで母による虐待が約 2 割、父による虐待が約 1 割となっている。

\*1 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律

\*2 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律

\*3 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律

【No. 26】 次は、健康に関する理論や研究についての記述であるが、A～Eに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

A. アントノフスキーは、イスラエルの更年期女性を対象とした調査において、第二次世界大戦中におけるナチス・ドイツの強制収容所経験をもちながらも、健康状態が良好である人が約  割存在していたという事実に注目した。そこから、疾患のリスク因子を除去・軽減することを考えて解決を見いだすアプローチである疾病生成論に対し、健康はいかにして生成されるのかということに焦点を当て、  を検討し、健康増進を目指すという健康生成論を提唱した。なお、この健康生成論と疾病生成論は、  的な関係にあるものとされている。

また、社会的格差の一つとして注目されている健康格差に関連する考え方として、R. D. パットナムを代表的な論者とする  がある。これは、他者への一般的信頼や、  の規範、社会的諸団体の活発な活動によって特徴付けられ、信頼関係に基づいてネットワークが構築されることが様々な社会効果を生むとするものである。実際に、これまでの研究によって、この  が豊かな地域ほど犯罪や虐待が少ないこと、死亡率が低く、健康に関する指標も高いことなどが報告されている。

	A	B	C	D	E
1.	5	個人要因	相互補完	ソーシャルサポートネットワーク	互酬性
2.	5	個人要因	二律背反	ソーシャルキャピタル	互酬性
3.	5	健康要因	二律背反	ソーシャルキャピタル	経済性
4.	3	個人要因	二律背反	ソーシャルサポートネットワーク	経済性
5.	3	健康要因	相互補完	ソーシャルキャピタル	互酬性

【No. 27】 我が国における社会保障の方式に関する記述A～Dのうち、妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。

- A. 社会保険と、生活保護などの公的扶助は、いずれも支給決定に際して資力調査を行うことが通例である。また、受給申請者の資力に応じて、受給額や一部負担金の額が決定される。このため、社会保険と公的扶助のいずれの方式を採用しても、社会保障の利用にはスティグマが伴うとされている。
- B. 社会保険と公的扶助の特徴を比較すると、社会保険の主な財源は保険料であり、保険料と保険給付の間には対価性や牽連性<sup>けん</sup>といった対応関係が認められるため、社会保険給付の権利性は強いとされている。一方、公的扶助の財源は租税であるが、消費税などの特定財源であり、財源と給付の間に対応関係が認められるため、社会保険の場合と同様に、公的扶助の給付の権利性も強いとされている。
- C. 社会保険と民間保険の特徴を比較すると、社会保険は、政府や公的な団体が実施主体であり、強制加入の制度であるが、民間保険は、株式会社などの民間企業が実施主体であり、任意加入の制度である。いずれの保険についても、財源は保険料と公費負担から構成され、収支相等の原則も給付・反対給付均等の原則も排除されている。
- D. 社会保険による老齢年金の方式について、積立方式には、インフレーションが起きた場合、年金給付の実質的な価値が維持できなくなるおそれがあるといった特徴があり、賦課方式には、少子高齢化が進む中で、年金の給付水準を維持しようとする、現役世代の負担が増加するといった特徴がある。

1. A
2. D
3. A、C
4. B、C
5. B、D



【No. 28】 DV 防止法\*に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. DV 防止法において、「配偶者からの暴力」とは、配偶者からの身体に対する直接的な暴力をいう。また、「被害者」とは、配偶者からの暴力を受けた女性であって、婚姻の届出をした者に限られ、加害者と現に婚姻関係にある者又は暴力を受けた後に離婚をした者をいう。
2. DV 防止法に規定される配偶者暴力相談支援センターは、市町村に設置が義務付けられており、その業務は一般に母子生活支援施設が担当している。配偶者暴力相談支援センターの機能として、配偶者からの暴力に対する被害者の相談対応や他機関との連携、一時保護を行うことが規定されている。
3. 配偶者暴力相談支援センターには、母子支援員及び少年指導員の配置が義務付けられており、被害に遭い、支援が必要な状況の母子世帯の母親及び子どもに対する支援が行われている。DV 防止法において、母子支援員は、社会福祉士又は精神保健福祉士のいずれかの資格を有する者でなければならないと規定されている。
4. 配偶者からの更なる暴力により、被害者の生命又は身体に危害が加えられることを防止するため、被害者は保護命令の申立てを配偶者暴力相談支援センターに行うことができる。保護命令により、配偶者の直接的な暴力が禁止されるとともに、保護命令の原因となった加害行為が公表される。
5. DV 防止法において、警察官は、通報等により配偶者からの暴力が行われていると認めるときは、暴力の制止、被害者の保護その他の配偶者からの暴力による被害の発生を防止するために必要な措置を講ずるよう努めなければならないと規定されている。

\* 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律

【No. 29】 社会集団に関する記述ア～エのうち、妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。

ア. F. テンニースは、社会集団を、本質意志に基づくゲマインシャフトと、選択意志に基づくゲゼルシャフトに区別した。ゲマインシャフトは人々が全人格的に結び付けられたものであり、家族、村落などが該当する。一方、ゲゼルシャフトは人々が利益によって結び付けられたものであり、大都会、国家などが該当する。

イ. G. タルドは、『群衆心理』において、群衆は社会に対する合理的な批判性を有するとし、その群衆による社会変革を高く評価した。また、G. ル・ボンは、『世論と群衆』において、公衆と群衆を対比し、公衆は直接対面で結び付いておらず、新聞というメディアによって結び付いているだけの存在であることから、世論を喚起する力が弱く、社会変革を起こし得ないと批判した。

ウ. W. G. サムナーは、内集団と外集団の概念を提唱した。内集団とはある個人が「われわれ」という感覚をもつ集団であり、外集団とは「かれら」として意識され敵意などの対象となる集団を指す。そして、内集団と外集団の区別がエスノセントリズム(自民族中心主義)をもたらすことを指摘した。

エ. F. ギディングスは、社会集団の生成の観点から研究を行い、フォーマル・グループの発生基盤となり、それを包含する形で存在するインフォーマル・グループの存在の重要性を論じた。そして、インフォーマル・グループにおける合理的な関係性がそのままフォーマル・グループの規則に転じることを明らかにした。

1. イ
2. ウ
3. ア、ウ
4. ア、エ
5. イ、エ

【No. 30】 次は、宗教に関する記述であるが、A、B、Cに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

□ A □ は、『宗教生活の原初形態』において、世界を聖と俗の二つの領域に分けるところに宗教の特徴があるとし、宗教は、定例の儀式活動によって共同体としての連帯意識を確認・強化する社会統合機能を有するとした。そして、分散して経済生活を行う時空間とは異なり、宗教的祭儀などを行う時空間において人々が集中することで発生するとした非日常的な興奮状態を、□ B □ と呼んだ。他方で、近代化に伴い高度な社会分化が進行する中で、社会統合機能が十分に果たされず、伝統的な意味での宗教は衰退するとした。

また、T. ルックマンは、現代社会における教会志向型宗教の衰退を認めながらも、直ちに宗教自体の衰退を意味するものではないとし、宗教は、私事的な領域に限定されながら、諸個人のアイデンティティを確立する究極的な意味体系としての機能的側面を維持していくと述べ、こうした宗教性を □ C □ と呼んだ。

A	B	C
1. É. デュルケム	集合(集合的)沸騰	市民宗教
2. É. デュルケム	集合(集合的)沸騰	見えない宗教
3. É. デュルケム	想像の共同体	市民宗教
4. M. ヴェーバー	集合(集合的)沸騰	見えない宗教
5. M. ヴェーバー	想像の共同体	市民宗教

【No. 31】 日本の文化を論じた著作に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 土居健郎は、『「甘え」の構造』において、甘えとは、他者に接近し、その相手と一体になりたいという感情や行動であるとした。そして、日本的自由の観念は甘えに発していることから、根本的には個人は集団を超越し得ないとし、個人の集団に対する優位性の根拠ともなる西洋的自由の観念と対比させた。
2. 井上忠司は、『日本の思想』において、西欧の分野ごとに専門分化して相互に没交渉となる傾向をもつ文化をササラ型と表現し、日本の専門分化しつつも根底のところ共通の思想をもち、一つの器のように支え合う文化をタコツボ型と表現した。
3. 中根千枝は、『タテ社会の人間関係』において、日本社会では、所属している「場」よりも職種や性別といった「属性(資格)」を重視することから、単一集団内部では、タテ組織が形成されず、ヨコの関係が発達することを指摘した。
4. 丸山眞男は、『「世間体」の構造』において、「世間」は日常行動のよりどころとなる準拠集団であるとし、個人を中心として、同心円的にミウチ、ナカマウチ、ヨソのヒト、タニンの順に重層化し、更にその外側に世間が位置するとした。
5. R. ベネディクトは、『菊と刀』において、日本の文化の型を「恥の文化」として欧米の「罪の文化」と対比し、欧米では、罪が他者に知られることによる外面的強制力に基づいて善行がなされるのに対し、日本では、内面化された道徳の絶対的標準に基づく恥の意識によって行動原理が規定されるとした。

【No. 32】 労働に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. G. E. メイヨーらは、米国のホーソン工場で実証実験を行い、まず、人間関係と生産能率の関係を調査したが、有意な相関は認められなかった。その後、照明の強度や制度的規則と生産能率の関係を調査し、物的環境の変化やフォーマル組織といった物理的・社会的要因が生産能率に影響を与える主因であることを主張した。
2. F. W. テイラーは、ホーソン実験を批判し、動作研究と時間研究により労働者の1日の標準作業量を決定し、差別出来高給制度によって標準作業量の達成を確保することで生産能率の維持・向上を図ろうとする科学的管理法を提唱した。また、生産能率向上のため、未熟練労働者には作業をさせず、熟練労働者に管理と作業を担わせることを提唱した。
3. K. マルクスは、資本主義社会の生産関係を人間の本源的な社会関係の疎外された形態と捉え、私的所有のもとでは、人間は労働生産物から疎外されるだけでなく、労働過程そのものからも疎外され、その結果、人間の類的本質からも、さらには人間それ自身からも疎外されるとした。そして、私的財産制を止揚し社会的連帯を回復することによる疎外状態からの解放を目指した。
4. H. フォードは、ベルトコンベアを中心とする生産管理方式により、特殊でかつ高価な製品をスピーディーに市場へ供給することを可能にした。また、このシステムは世界中の多くの産業に広まり、低コストで消費者のニーズに合わせた生産モデルの多様化を実現するフォードイズムという概念が生まれた。
5. G. P. フリードマンは、対人サービスに従事する労働者に求められる適切な感情状態や感情表現を作り出す感情管理のことを、感情労働と呼んだ。感情労働においては、役者と異なり、好意や共感といった感情を心から経験する技術は必要ないものの、うわべの表情や身振りにより表層演技をすることが求められると指摘した。

【No. 33】 質問紙(調査票)調査に関する記述A～Dのうち、妥当なもののみを挙げているのはどれか。

- A. 社会調査を量的調査と質的調査に大別した場合、質問紙調査は量的調査の代表的な手法の一つである。そのため、質問紙調査は量的変数しか扱うことができず質的変数を収集することはできない。このような制限があることで、どの2変数の組合せであっても因果関係を識別することが可能となっている。
- B. 質問紙調査のうち、母集団から一部のサンプル(標本)を選び出し、そのサンプルに対して行う調査を標本調査といい、サンプルを選び出す過程をサンプリング(標本抽出)という。サンプリングのうち、有意抽出法とは、調査者が意図的にサンプルを抽出するものをいい、無作為抽出法とは、全てのサンプルが等しい確率で選ばれるようにサンプルを抽出するものをいう。
- C. 調査票作成の際、各質問文のワーディングの吟味が必要となる。社会調査には一定の品格が求められることから、多少難易度の高い用語を選択することが必要であり、専門用語なども積極的に用いるべきとされる。また、回答者の答えやすさを考慮し、前の質問の答えが自動的に次の質問の答えを導くような順番に質問を配置するべきとされる。
- D. 調査票を配票、回収する調査法には、個別面接調査、留置調査、郵送調査などがある。このうち個別面接調査は、調査員が調査対象を訪問し、調査票に基づいて質問を行い、回答を得る方法である。また留置調査は、調査票を調査対象に預け、一定期間経過後回収する方法であり、配票か回収、あるいはその両方で調査員が調査対象のもとを訪問する。

- 1. A、B
- 2. A、C
- 3. A、D
- 4. B、C
- 5. B、D

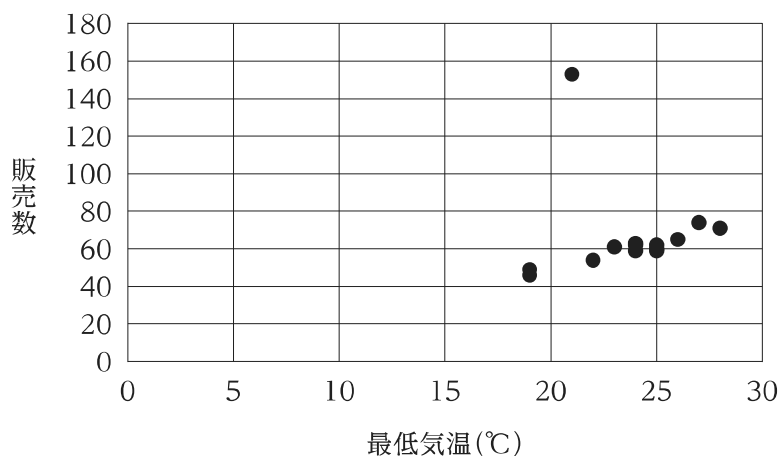
【No. 34】 表は、ある店における一日のかき氷の販売数とその日の最低気温を示したものである。

図は、この表をグラフにしたものであり、8月12日～8月25日の全販売数の標準偏差は24.90とする。これらに関する記述として最も妥当なのはどれか。

表

	最低 気温 (℃)	販売 数
8月12日	23	61
8月13日	24	59
8月14日	28	71
8月15日	27	74
8月16日	22	54
8月17日	19	49
8月18日	19	46
8月19日	21	153
8月20日	25	60
8月21日	24	63
8月22日	24	62
8月23日	26	65
8月24日	25	62
8月25日	25	59

図



1. 8月12日～8月25日の全販売数について、代表値には、中央値よりも平均値を用いることが適切である。散布度は、分散が12.45となる。
2. 8月12日～8月25日の全販売数について、代表値には、平均値よりも中央値を用いることが適切である。散布度は、分散が-12.45となる。
3. 8月12日～8月25日の全販売数について、平均値は中央値よりも高くなる。外れ値を除くと、最低気温と販売数には負の相関があることが分かる。
4. 8月12日～8月25日の全販売数について、平均値は中央値よりも高くなる。散布度には、最大値と最小値の差よりも第3四分位数と第1四分位数の差を用いることが適切である。
5. 8月12日～8月25日の全販売数について、平均値は中央値よりも低くなる。図から、最低気温と販売数との相関係数は1に近くなると予想されるため、両者に因果関係があることが分かる。

【No. 35】 次は、単回帰分析に関する記述であるが、ア～エに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

回帰分析は、独立変数(X)と従属変数(Y)の関係を全体として捉えたときに、独立変数との線形関係から従属変数の値をどれだけ予測(あるいは説明)できるかを検討するものであり、次のような(回帰式の)予測式に基づいて分析を行うことになる。・・・  $\hat{Y}_i = a + bX_i$

ただし、実際に分析するデータは、独立変数と従属変数の間に完全な比例関係があるとは限らないので、予測式から得られる予測値  $\hat{Y}_i$  と実際の観測値  $Y_i$  は完全に一致するわけではない。そのため、観測値を示す点は、一本の直線の上に並ばず、何らかの誤差  $e_i$  が生じる。したがって、回帰分析の基本となる回帰モデルは、次のようになる。・・・ ア

このとき、傾き  $b$  の推定値は イ と呼ばれ、XとYの平均をそれぞれ  $\bar{X}$ 、 $\bar{Y}$  とすると、次のような式に当てはめることで計算することができる。・・・ ウ

ここで、ウ の分子を自由度  $N - 1$  で割るとXとYの共分散、分母を  $N - 1$  で割るとXの エ となり、 $b$  はXの エ に対する、XとYの共分散の比として理解することもできる。

ア	イ	ウ	エ
1. $Y_i = a + bX_i + e_i$	回帰係数	$b = \frac{\sum(X_i - \bar{X})(Y_i - \bar{Y})}{\sum(X_i - \bar{X})^2}$	分散
2. $Y_i = a + bX_i + e_i$	回帰係数	$b = \frac{\sum(X_i - \bar{X})\sum(Y_i - \bar{Y})}{\sum(X_i - \bar{X})^2}$	算術平均
3. $Y_i = a + bX_i + e_i$	偏相関係数	$b = \frac{\sum(X_i - \bar{X})\sum(Y_i - \bar{Y})}{\sqrt{\sum(X_i - \bar{X})^2}}$	分散
4. $Y_i = e_i(a + bX_i)$	回帰係数	$b = \frac{\sum(X_i - \bar{X})(Y_i - \bar{Y})}{\sqrt{\sum(X_i - \bar{X})^2}}$	幾何平均
5. $Y_i = e_i(a + bX_i)$	偏相関係数	$b = \frac{\sum(X_i - \bar{X})\sum(Y_i - \bar{Y})}{\sum(X_i - \bar{X})^2}$	幾何平均



### Ⅲ部(No. 36～No. 105)

Ⅲ部は**選択問題**です。**科目 1 ～科目 14 のうちの任意の 4 科目(1 科目各 5 題)を選択し、合計 20 題を解答**してください。

この問題集の科目別構成の詳細は、この問題集の裏表紙に掲載されていますので、よく読んでください。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

No. 36～No. 40 はⅢ部**科目 1 . 認知心理学**です。  
**科目 1 ～科目 14 のうちの任意の 4 科目を選択し、合計 20 題を解答**してください。  
 解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 36】 次は、知覚の測定に関する記述であるが、A～Dに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

19世紀以降、刺激の物理的な量とそれがもたらす感覚との間の関数関係を求める研究が進められた。感覚の感度を定量化しようとした研究の一つに、S. S. スティーヴンスによるものがある。彼は、閾上の様々な刺激がもたらす心理量を直接測る方法として A を考案した。この方法では、刺激に対して感じた量や強さを数字の大小で報告する。彼は視覚や聴覚、味覚といった様々な感覚について A による実験を行い、心理量  $y$  と刺激強度  $x$  との間には、

$$\text{B} \quad (n \text{ は定数})$$

という関係が成り立つことを見いだした。ここで、感覚間で異なるのは  $n$  となる。

光の明るさを評定させた場合には  $n < 1$  となった一方で、電気ショックがもたらす痛みを評定させた場合には  $n > 1$  となった。物の重さに関する評定は C と同様の傾向にあった。また、前者の結果は D の法則によっても説明することができるが、後者の結果はこの法則とは相容れなかった。つまり、感度の変化の仕方は、感覚の種類により異なるといえる。

A	B	C	D
1. マグニチュード推定法	$y = x^n$	前者	L. L. サーストン
2. マグニチュード推定法	$y = x^n$	後者	G. フェヒナー
3. マグニチュード推定法	$y = n \log x$	前者	G. フェヒナー
4. 調整法	$y = x^n$	後者	L. L. サーストン
5. 調整法	$y = n \log x$	前者	L. L. サーストン

【No. 37】 次は、洞察(insight)に関する記述であるが、A～Dに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

著作権の関係のため、掲載できません。

著作権の関係のため、掲載できません。

A	B	C	D
1. ignoring	convergent	more than 90%	do little to facilitate
2. ignoring	convergent	less than 10%	facilitate
3. ignoring	productive	more than 90%	facilitate
4. reiterating	convergent	more than 90%	facilitate
5. reiterating	productive	less than 10%	do little to facilitate

【No. 38】 次は、感性評価に関する記述であるが、A～Eに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

ただし、Eには、㊦又は㊧のいずれかが入る。

著作権の関係のため、掲載できません。

A	B	C	D	E
1. 因子分析	活動性	デンドログラム	W. S. トーガソン	㊦
2. 因子分析	活動性	プロフィール	C. E. オズグッド	㊧
3. 因子分析	複雑性	プロフィール	W. S. トーガソン	㊧
4. 重回帰分析	活動性	デンドログラム	C. E. オズグッド	㊧
5. 重回帰分析	複雑性	デンドログラム	C. E. オズグッド	㊦

【No. 39】 次は、概念形成に関する記述であるが、A～Eに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

著作権の関係のため、掲載できません。

A	B	C	D	E
1. 定義的特徴	図形	E. ロッシュ	上位水準	ポストホック(post hoc)
2. 定義的特徴	図形	E. ロッシュ	基礎水準	アドホック(ad hoc)
3. 定義的特徴	文字	S. E. アッシュ	上位水準	アドホック(ad hoc)
4. 機能的特徴	図形	S. E. アッシュ	基礎水準	ポストホック(post hoc)
5. 機能的特徴	文字	E. ロッシュ	基礎水準	ポストホック(post hoc)

【No. 40】 注意に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. E. F. ロフトスは、耳や目といった感覚器官から聞こえたことや見えたものが何かを理解するという物体認識過程の中で、比較的早い段階(具体的には刺激の物理的特性の処理が終わる段階)で注意が働き、情報選択をすると考える立場をとった。これを選択的注意の減衰モデルという。
2. 「あか」や「みどり」といった色単語を文字で視覚的に提示し、その色単語が意味している色とその語の表示色とが異なる場合、色単語と表示色が一致する場合と比較して色命名課題の反応時間が短くなり、エラー率も低くなる。これをカクテルパーティー効果という。
3. 実際には視覚的に十分認知可能だと思われる物理的変化が実験参加者に提示されているにもかかわらず、それを検出できない、又は検出課題の成績が非常に悪くなるという現象がある。これを負のプライミング効果という。負のプライミング効果を調べる実験では、一般に遅延反応課題が用いられる。
4. 注視点の位置に文字などを1秒間に10個程度のペースで逐次提示した系列にターゲットを混ぜ、実験参加者にその中からあらかじめ決められた二つのターゲットの報告を求めると、一つ目と二つ目のターゲットが時間的に近接している場合に、二つ目のターゲットが見落とされやすくなる。これを注意の瞬き(attentional blink)という。
5. F. J. ガルは、二つの段階を経て物体認識過程が進むとし、その過程の中で複数の特徴を一つの対象にまとめるには注意が必要だと考えた。彼は、視覚系では後頭葉に複数の特徴を処理する部位が特徴ごとに分散して存在しているという神経科学から得られた知見をもとに、物体認識のモデルとして後期選択説を唱えた。

No. 41～No. 45 はⅢ部**科目 2. 臨床心理学**です。  
**科目 1～科目 14 のうちの任意の 4 科目を選択し、合計 20 題を解答**してください。  
 解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 41】 次は、家族療法に関する記述であるが、A～Dに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

家族療法とは、システム論に基づき、家族を一つのシステムとみなし、そのシステムを治療の対象とする心理療法である。この理論では、物事の原因と結果の関係を **A** 因果律で捉える。また、家族療法では、家族を多世代的に理解するために、**B** を用いる。**B** は、性別、年齢などが記号表示に従って作成され、家族間の関係性も書き込むことができる。家族療法では、様々な技法が用いられているが、その中でも **C** は、家族メンバーの行動や、出来事、関係性などの事実は変えずに、その文脈や意味付けを変化させる方法として知られている。

家族療法には、短期間にいくつもの理論、学派が登場した。第1世代の理論モデルは、観察者としての治療者が家族をどのように理解するかという視点で構築されているが、第2世代理論では、ポストモダニズムや社会構成主義の考え方が取り入れられるようになり、治療者は観察者の位置からではなく、システムの主体的で自由な在り方を共に再発見、強化する仲間として参与する立場が強調されている。その一つにS.ド・シェイザーらによる **D** がある。

A	B	C	D
1. 円環的	ジェノグラム	エナクトメント	アクセプタンス&コミットメント・セラピー
2. 円環的	ジェノグラム	リフレーミング	解決志向アプローチ
3. 円環的	エコマップ	リフレーミング	アクセプタンス&コミットメント・セラピー
4. 直線的	ジェノグラム	リフレーミング	アクセプタンス&コミットメント・セラピー
5. 直線的	エコマップ	エナクトメント	解決志向アプローチ



【No. 42】 被災者への心理的理解とケアに関する記述A～Dのうち、妥当なもののみを挙げているのはどれか。

- A. 被災者の心理状態は、災害発生直後から回復に至るまでに、2相性の段階を経過することが知られている。この段階とは、まず被害や喪失に直面し、自分の身に何が起こったか理解できず混乱する「幻滅期」、次に被災者が災害後の生活に適応したかに見え、被災者どうしの連帯が生まれることもある「ハネムーン期」である。
- B. 被災直後に、治療者が被災者にグループで被災体験を語るよう促す試みを心理的デブリーフィングという。J. T. ミッチェルによって提案され、我が国でも PTSD(心的外傷後ストレス障害)予防の介入方法として用いられたことがある。しかし、心理的デブリーフィングには有効性がないとされ、現在では PTSD 予防の介入方法として推奨されていない。
- C. 支援者は、被災者の話を真摯に受け止めることで、被災者と同様の外傷性ストレス反応を生じることがある。これを「二次被害」という。「二次被害」の症状の一つに、バーンアウトがある。この概念は、M. E. P. セリグマンによって初めて提唱された。それまで熱心に仕事に取り組んでいた人が、突然燃え尽きたように意欲をなくし、仕事に熱心でなくなったり、仕事を辞めたりする現象を指す。
- D. サイコロジカル・ファーストエイドは、深刻で危機的な出来事が生じた場合に、人道的かつ実際に役立つ援助を提供するための方法である。外傷体験を経験した者を対象とし、外傷体験によって引き起こされる苦痛を軽減すること、短期的・長期的な適応を促進することを目的にしている。また、多様な文化に対する配慮がなされている。

- 1. A、B
- 2. A、D
- 3. B、C
- 4. B、D
- 5. C、D

【No. 43】 心理検査に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. ロールシャッハ・テストは、10枚のインクのしみの絵を用い、それが何に見えるかを尋ねるテストである。被検査者の反応は、何に見えたか(反応内容)、どの部分に着目したか(反応領域)、どのような特徴からそう見えたか(反応決定因)といった観点から整理される。片口法や包括システムなどの流派があり、実施や解釈の方法は一定の手順に基づく必要があり、習熟を要する心理検査である。
2. YG性格検査は、E. バーンが創始した交流分析の理論に基づいて作成された、自我の構造を明らかにする心理検査の日本版である。J. P. ギルフォードが作成した性格検査を基に、矢田部達郎らが日本人を対象に標準化した。全120項目で構成され、批判的な親(CP)、養育的な親(NP)、大人(A)、自由な子ども(FC)、順応した子ども(AC)の五つの自我が測定される。
3. 風景構成法は、J. N. バックによって考案された、家・樹木・人物の三つの絵を描かせる検査であり、人物画テストやバウム・テストとともに描画法の心理検査に分類される。描画法は当初、パーソナリティの投影法検査として使用されていたが、徐々に知能検査としても考えられるようになり、また、現在では検査としてだけでなく治療法としても用いられる場合がある。
4. 精神病理学的行動症状を把握する質問紙検査であるMMP Iは、抑うつ尺度、統合失調症尺度などの10の臨床尺度を有する。それぞれの臨床尺度が精神疾患の患者群との類似度を示しており、精神科臨床の現場で使用されるが、妥当性尺度がないことから、社会的望ましきなどからくる反応歪曲の程度が把握できない点で解釈上の留意を要する。また、MMP Iの550項目のうち顕在性不安に関する項目を抜き出したMP Iも作成されている。
5. 質問紙法検査の結果の解釈は、投影法検査に比較して、被検査者本人が意識していない自我防衛のメカニズムや無意識的な葛藤に踏み込むものである点が特徴である。質問紙法検査の結果を被検査者にフィードバックする際は、一般に無意識的な側面から伝え、被検査者本人に理解を促すことが望ましいとされている。

【No. 44】 次は、発達障害の診断と支援に関する記述であるが、A～Dに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

ただし、Dは表中にあり、Dには㊦又は㊧のいずれかが入る。

DSM-5(精神疾患の診断・統計マニュアル)において、自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症などは、 群に含まれる。このうち自閉スペクトラム症は、持続する社会的コミュニケーションや対人的相互反応の障害と、行動、興味、又は活動の限定された反復的な様式を基本的な特徴とし、以前には小児自閉症、特定不能の広汎性発達障害、小児期崩壊性障害及び  と呼ばれていた障害を包括する。また、注意欠如・多動症は、不注意と多動性及び衝動性、又はそのどちらかが持続することが特徴である。

発達障害を正しく鑑別することは、その後の支援を行う上で非常に重要である。見慣れない大人に対し、文化的に不適切なほど過度のなれなれしい行動をとる子どもを例に考えてみる。DSM-5によると、そうした行動は発達障害でない  の基本的な特徴であるが、時に併存する注意欠如・多動症で認められるような社会的衝動性という観点から、 と注意欠如・多動症を鑑別する必要があり、注意の困難又は多動を示すか否かがポイントとなる。

発達障害への心理的支援には、応用行動分析学の考えを取り入れた TEACCH プログラムやペアレント・トレーニングなどがある。このうちペアレント・トレーニングでは、表のように、子どもの行動を3種類に分類し、それぞれに対する対処の仕方を養育者に理解してもらうことから始める。そして、養育者が一貫した態度をとれるように促すことで、子どもたちの好ましい行動を増やし、好ましくない行動を減らすことを目指す。

表

子どもの行動	好ましい行動	好ましくない行動	危険な行動 (許し難い行動)
養育者の対処	ほめる、 肯定的な注目をする	<input type="text" value="D"/>	断固として 制限を設ける

Dの候補

㊦：無視する、注目を外す

㊧：叱る、否定的な注目をする

A	B	C	D
1. 神経発達症	アスペルガー障害	反応性愛着障害	①
2. 神経発達症	アスペルガー障害	脱抑制型対人交流障害	㊦
3. 神経発達症	トゥレット障害	反応性愛着障害	㊦
4. 心理的発達の障害	アスペルガー障害	反応性愛着障害	㊦
5. 心理的発達の障害	トゥレット障害	脱抑制型対人交流障害	①

【No. 45】 精神分析に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 学説の対立から S. フロイトと決別した A. アドラーは、自己心理学を提唱し、自己愛は生涯を通じて成熟を続ける健全なものであるとした。また、人がフラストレーションを昇華し克服しようとする衝動は、「権力への意志」となると唱えた。
2. M. クラインは、S. フロイトが仮定した心的装置のうち、特に自我の機能を重視し、自我心理学を構築した。自我と対象との関係の在り方にも着目し、分裂や投影性同一視などの原始的防衛機制を示すとともに、「態勢(ポジション)」という概念を提唱し、乳幼児の最早期の心的組織化を「抑うつ態勢」、それに後続し改変された組織化を「妄想分裂態勢」と呼んだ。
3. H. S. サリヴァンは、リビドーの発達など生物学的側面を重視した S. フロイトの考えを発展させ、人間理解の方法を「関与しながらの観察」と呼んだ。また、乳児の精神発達において移行対象という概念を示し、母親などが乳児を「抱えること(holding)」が育児の重要な側面であるとした。
4. 自由連想法は、クライアントが頭に浮かぶ全ての表象を批判、選択することなしにそのまま言葉にしていくものであり、精神分析の基本的な技法である。精神分析の介入技法の一種には、クライアントの曖昧な叙述や話の流れ、意図を整理して伝える「直面化」や、明白ではあるのに本人には気付かれていない事柄をクライアントに提示する「明確化」がある。
5. 感情転移とは、もともとは別の特定の人物に向けられているクライアントの感情が、治療の中でセラピストに向けられることを指す。一方で、逆転移はセラピストからクライアントへの感情転移であり、広義には、セラピストがクライアントに向ける情緒的な反応全般を指し、クライアントがセラピストの中に投げ入れる情緒(感情転移)に反応して生じるものも含む。

No. 46～No. 50 はⅢ部**科目 3. 教育環境学**です。

**科目 1 ～科目 14 のうちの任意の 4 科目を選択し、合計 20 題を解答**してください。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 46】 諸外国の初等中等教育に関する記述A～Dのうち、妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。

- A. 米国においては、合衆国憲法の規定に基づき、教育に関する権限を連邦が有しており、教育は連邦の専管事項であるため、初等中等教育の制度が全国で統一されている。また、2000年代に入り、連邦は、全国一律に実施すべき教育内容として、「ナショナル・スタンダード」を定め、公立学校は、これに従う義務を有することとなった。
- B. 英国においては、従来、国として全国共通の教育課程基準である、「ナショナル・カリキュラム」を定めていたが、1988年の教育改革で廃止され、地方当局が教育課程を定めることとされた。また、同時期に、地方ごとの教育の在り方を尊重するため、それまで実施されていた全国統一のテストが取りやめられることとなった。
- C. 中国においては、1990年代、受験偏重教育が「応試教育」として批判されるようになり、全人格的発達を目指す「素質教育」への転換が志向されるようになった。教育課程について、中央政府が全国的な基準を定めるが、地域の状況に合わせた児童生徒の学びを促進するため、2000年代に入り、地方及び学校の課程管理の裁量権が拡大された。
- D. フィンランドは、PISA 調査が2000年に開始されて以降、2018年まで、OECD加盟国の中で「数学的リテラシー」の平均得点が継続して第1位であった。フィンランドにおいては、教育機会の均等を保障するため、国及び地方自治体が詳細に教育課程を編成しており、各学校では、カリキュラムを決めないことに特徴がある。

1. A
2. C
3. A、B
4. B、D
5. C、D

【No. 47】 我が国の高等教育と進学率に関する記述ア～エのうち、妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。

ア. 我が国の高等教育には、大学、大学院、短期大学、高等専門学校における4年次以上、専門学校\*が該当する。このうち、大学への進学率は、2020年時点で男女ともに50%以上であり、短期大学への進学率は、女子においては2000年以降上昇し続けている。また、専門学校への進学率は、男女ともに1990年以降は一貫して下降しているのに対し、大学院(修士課程)への進学率は、一貫して上昇し続けている。

イ. M. トロウのモデルでは、大学進学率が15%を超えるとエリート段階からマス段階へ移行し、50%を超えるとユニバーサル段階に至るとされる。我が国の大学への進学率は、1980年代にユニバーサル段階へ移行し、学生の量的増加だけでなく質的な変化にも対応可能な制度設計・運営が求められている。特に、リカレント教育の推進により、大学学部における社会人学生の入学者数は1990年から現在まで一貫して増加している。

ウ. 2000年以降、我が国の大学進学率はOECD諸国の中で3位以内の高い水準にあり、アジアの中では第1位を維持している。また、2000年以降の先進諸国の多くは大学進学率を上昇させており、特に我が国の大学進学率の上昇率は、2000年から2010年までの間、OECD諸国の中で最も高く、その理由として、18歳人口の減少、家庭における子供の教育への注力、社会のニーズに合わせた多様な学部・学科の開設が挙げられる。

エ. 我が国では、進学率の上昇や社会の成熟化に伴い、大学教育の多様化が求められるとともに、1990年代から2000年代にかけて、公的な質保証システムの改善が順次行われてきた。特に、2000年代の改革では、大学設置基準に基づいた、一定水準以上の大学であることを保証する事前規制型の質保証が弾力的に見直され、恒常的に大学の質を保証することを目指す事後確認と事前規制の併用型への転換がなされている。

\* 専門課程を置く専修学校

1. イ
2. エ
3. ア、イ
4. ア、ウ
5. ウ、エ

【No. 48】 教育費の公費負担に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 日本国憲法第 26 条では、「義務教育は、これを無償とする。」とされている。我が国の義務教育における無償の一例として教科書が挙げられ、この教科書の無償給与は、全ての国公私立学校に通う児童生徒が対象となっている。
2. 公的な教育費支援の制度としての就学援助は、生活保護世帯のみに対する給付であるのに対し、教育扶助は、生活保護世帯に加えて生活保護に準ずる程度に困窮している小中学生に対する給付である。所得にかかわらず児童生徒の学びを保障するため、両給付とも全額国庫負担で実施されている。
3. 高校生等奨学給付金は、低所得世帯(生活保護世帯・非課税世帯)の高校生の授業料以外の教育費負担を軽減するための制度である。この制度は、市町村によって実施され、教科書費、学用品費、修学旅行費などの支援がなされるが、国による補助が行われないため、自治体間格差が問題になっている。
4. 高等学校に通う生徒がいる世帯の授業料支出を支援する制度に、高等学校等就学支援金がある。この制度は生徒の教育機会を保障することを目的としており、私立高等学校に通う生徒がいる世帯の場合も、その全ての世帯を対象として、全国の公立高等学校の平均授業料を勘案した水準の額の支援金が給付されている。
5. 現在、幼児教育・保育に関わる利用料は一部無償化されているが、幼稚園と保育所では無償となる対象が異なっている。学校である幼稚園では、利用料の無償化に所得制限が存在するのに対して、保育所では、児童福祉施設であることを勘案し、認可保育所等に通う全ての乳幼児に対して利用料の無償化が適用されている。



【No. 49】 特別支援教育に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 2006年に国連総会で採択された障害者の権利に関する条約について、我が国は、その翌年に批准するとともに、教育基本法の一部改正により、特別支援教育を開始した。同条約には、障害を理由に一般的な教育制度から排除されないことや、障害種別ごとに必要とされる合理的配慮が提供されることなどが明記された。
2. 各学校の校長は、特別支援教育の推進のため、関係諸機関と学校との連絡・調整等の役割を担う者として、教員以外の者から、特別支援教育コーディネーターを指名することができる。ただし、その指名は任意とされており、ほとんどの小学校・中学校において、特別支援教育コーディネーターは指名されていない。
3. 各市区町村は、その区域内にある学齢児童及び学齢生徒のうち、政令で定める程度の障害のある者を就学させるに必要な特別支援学校を設置し、学びの連続性を確保する観点から各学校に必ず幼稚部、小学部、中学部、高等部の全てを置かなければならないと、学校教育法において定められている。
4. 特別支援学級は、知的障害者、肢体不自由者、身体虚弱者、弱視者、難聴者、その他障害のある者で特別支援学級において教育を行うことが適当なものを対象としており、担任する教員は、特別支援学校教諭免許状を有している必要がある。また、特別支援学級を設置する学校は、その専門性を生かして、地域における特別支援教育のセンターとしての役割を果たすよう努めることとされている。
5. 通級による指導は、各教科等の授業は主として通常の学級で受けながら、心身の障害の状態に応じた特別の指導を特別の場で受ける指導形態であり、小学校・中学校では、1993年に制度化された。制度開始以降、小学校・中学校において通級による指導を受けている児童生徒が増加する中で、2018年度からは、高等学校においても、通級による指導が開始された。

【No. 50】 我が国の教育委員会制度の変遷に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 第二次世界大戦前の教育委員会制度はドイツの制度を参考にして創設されたものであった。上からの近代化を行ったドイツに倣う中央集権的な教育行政構造であったため、教育委員は文部省によって全て決められ、文部省の下部組織として各学校での軍国教育を推進していった。
2. 第二次世界大戦後に成立した教育委員会法における教育委員会制度では、国が教育行政に対して強い影響力を持ったことの反省から、教育委員を地方公共団体の長が選ぶ教育委員公選制を導入した。教育長は教育委員間の互選で選出され、教育長に選ばれた委員には地方公共団体の長から教育長免許状が付与された。
3. 地方教育行政法\* 成立直後の教育委員会制度では、教育委員は、文部大臣及び教育委員会による承認を経て、地方公共団体の長によって任命されていた。教育委員会の権限を強めるため、予算案を財政担当部局との折衝を経ずに直接議会に送付する原案送付権が付与されたが、予算案の膨張を招き、地方公共団体の長と対立するようになった。
4. 地方教育行政法の改正(2014年6月公布・2015年4月施行)により、教育委員会委員長の権限が教育長に一本化され、教育長は教育委員会の代表であるとともに教育委員会事務局の統括を行う権限を与えられた。教育長の任期は4年から3年に短縮された。
5. 地方教育行政法の改正(2014年6月公布・2015年4月施行)により、地方公共団体の教育行政の基本方針である「学校運営の基本方針」を定める権限が、教育委員会から地方公共団体の長に移管され、教育委員会会議を廃止する代わりに、地方公共団体の長と教育委員会が協議・調整を行う総合教育会議が新設された。

\* 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(1956年6月公布・同年10月施行)

No. 51～No. 55 はⅢ部科目 4. 教育心理学です。

科目 1～科目 14 のうちの任意の 4 科目を選択し、合計 20 題を解答してください。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 51】 次は、発達に関する記述であるが、A～Eに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

発達心理学では、心理学が研究対象とする様々な行動や心性の構造や機能に対し発生的観点をとる。これに関し E. H. ヘッケルは、 は  を繰り返すという反復説を提唱した。 とは、その時間的尺度が通常、何十万年や何百万年もの時間をかけて生じるものを指すのに対し、 はより短い時間的尺度で生じるものを指す。

L. ボルクは人間の身体的特徴が類人猿の子どもに類似していることから、人間は類人猿の子どもの状態で成熟するようになったのだといい、それを  と呼んだ。このような現象は  と呼ばれ、人間においてこの現象が見られることは E. H. ヘッケルの反復説に対する反証となっている。これに関し K. ローレンツは、人間は社会環境を作り出して野生から離れ、 を遂げることで、身体的・行動的な  を呈するようになったと述べている。

A	B	C	D	E
1. 個体発生	系統発生	胎児化	幼形成熟	自己家畜化
2. 個体発生	系統発生	胎児化	生理的早産	自己社会化
3. 個体発生	系統発生	留巢性	幼形成熟	自己社会化
4. 系統発生	個体発生	留巢性	幼形成熟	自己家畜化
5. 系統発生	個体発生	胎児化	生理的早産	自己社会化

【No. 52】 教育評価における情報の解釈と利用に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. ある教育目標の達成度を測定するテストにおいて、その目標を達成したとみなす客観的な達成基準を定め、それに基づいて達成度の判断を行う方法を到達度評価という。到達度評価には、努力を続けていても自分より能力の高い生徒が多数いることで評価が上がりづらく、学習意欲が低下しやすいという問題がある。ルーブリックは達成基準に基づく得点解釈を可能にするものであり、学習課題における教師の主観的な基準をまとめて作成される。
2. 同じ学校の同学年の生徒や全国の同学年の生徒といった集団を基準集団とし、その集団でのテスト得点の分布に照らして個々の生徒の得点を解釈する方法を相対評価と呼ぶ。学校教育における相対評価の利用は生徒自身の努力が可視化されやすく、自己効力感や学習への動機づけを高めることができる。相対評価を行う際は、基準集団における統計量を用いて素点を標準化したものが利用され、異なる集団間でも点数の比較や解釈が可能となる。
3. 生徒自身の過去のテスト得点などを基準として得点を解釈する方法を、個人内評価と呼ぶ。現在と過去の得点の差は、同一のテストを用いた場合には解釈できるが、異なるテストの場合には得点が共通尺度上のものでも変化を論じることはできない。個人内評価の例として、学力偏差値に基づく知能偏差値の予測値と学力偏差値の差から定義される回帰成就値による評価があり、学力レベルから期待される知能を有しているか否かの判断に用いられる。
4. テスト得点を達成基準や集団基準と比較して解釈する際、その解釈の妥当性を検討する必要がある。そのためには、解釈が妥当であるために満たされるべき必要条件が実際に満たされているかを検討する。テスト実施前であれば、検討結果に基づく内容の修正などにより得点の解釈の妥当性の向上を図ることができる。テスト実施後の結果分析で得点の解釈の妥当性が低いことが分かった場合は、解釈の仕方を修正することが考えられる。
5. コンピュータ適応型テストは、受験者が本試験の受験前にコンピュータ上で診断的評価を受け、その結果に基づく能力水準に適したテストバッテリーがコンピュータ上で出題されるテスト形式である。そのため、コンピュータ適応型テストでは項目反応理論と呼ばれる理論に立脚し、異なる受験者が異なる項目に解答しても、それらの項目の単純な正答数で測定結果を表すことで、受験者間の測定結果の比較や解釈を可能にしている。

【No. 53】 メタ認知に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. J. H. フレイヴェルは、メタ認知的知識を「課題についての知識」と「方略についての知識」に分類した。前者では「選択式問題よりも記述式問題の方が難しい」、後者では「計算課題で数字の桁数が増えると計算ミスが増える」といった例が挙げられる。メタ認知的知識には、認知活動の主体である人間一般や自分自身の認知特性に関する知識は含まれない。
2. メタ認知的活動は、メタ認知的モニタリングとメタ認知的コントロールに分類される。メタ認知的モニタリングは、計画や目標を変更するなど、認知活動を調整することである。メタ認知的コントロールは、認知活動の進捗状況や現在の状況を評価することである。メタ認知的モニタリングとメタ認知的コントロールは循環的に働くことが知られている。
3. メタ認知の一つの側面に、既知感がある。特に日常想起場面において、既知感が非常に強い場合に、TOT(tip of the tongue)現象やスリップが生じることがある。既知感に関する研究(Hart, J., 1965)において、一般的知識を問う質問が与えられ、正答できなかった実験参加者に既知感の程度を尋ねたところ、既知感の強さと、その後に行われた再認テストの成績とは関連がないことが示されている。
4. メタ認知を促す学習支援法として、メタ認知の手がかりの提供がある。教師が「この学習で注意すべきことは？」といった手がかりを学習者に与えることで、学習者のメタ認知を発動させやすくするとされている。また、二人以上の集団での学習は、他者への説明や応答を通じて、自らの認知を相対化・対象化しやすくなり、メタ認知が働きやすくなるとされている。
5. 代表的なメタ認知的学習方略には、リハーサルと体制化がある。リハーサルとは、学習内容を覚えるために、繰り返し暗唱したり、反復して書いたりする方略である。体制化とは、イメージ化したり、既に知っている知識を付け加えたりすることによって学習内容を覚えやすい形に変換する方略である。

【No. 54】 教育や発達における人間と環境の関係に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 「小学生において、シャイネスと学習形式(協同学習形式と講義形式)における適性処遇相互作用を検討する」という研究目的を立てた場合、「シャイネス」が適性となり、「学習形式」が処遇となる。分析に際し、適性である「シャイネス」を量的な変数として扱うことはできないため、重回帰分析のような一般線形モデルを用いた分析は適用されず、適性と処遇の2変数を用いたクラスター分析を用いることになる。
2. 子どもの生得的な行動特性である気質は、親の養育に影響を与える要因である。A. トマスとS. チェスの理論では、気質がその後の臨床的問題のリスク要因となるかどうかは、子どもの気質と養育環境との「適合のよさ」に依存する。例えば、気質的に活動性の高い子どもが、同じく活動的な親による養育を受けた場合、子どもにかかるストレスが少なく、より高い適応性が期待される。
3. ある特定の遺伝子型をもった人が特定の環境を経験しやすい場合があり、これを遺伝環境相互作用と呼ぶ。ニュージーランドのダニーディンで行われている縦断研究のデータを分析したA. カスピら(Caspi, A. et al., 2002)によれば、モノアミン酸化酵素A(MAOA)の活性が低くなる遺伝子型の子どもは、自身の行動が原因となり親や学校の先生からの支持的な養育・教育を経験しやすく、青年期以降の向社会的行動が促される傾向があることが示されている。
4. 教育場面においては、ある学習者に対しては効果的である教授法も、別の学習者にとっては効果的ではないという現象がしばしばみられる。このように、学習者が他者の助けなしに分かるレベルによって効果的な教育方法が異なる現象を、L. S. ヴィゴツキーは発達の最近接領域と呼んだ。この現象においては、学習者の認知的能力が事前の適性として扱われる一方、性格などの心理学的個人差は教授法の効果とは関連しないものと考えられている。
5. 認知スタイルとは人の学習時の形態や環境に対する好みを指し、場依存型と場独立型の二つに分けることができる。場依存型の人には全体よりも部分に着目する傾向があるのに対し、場独立型の人には物事を全体的に見ることが得意である。外国語学習において、場依存型の学習者は文法規則を先に学んだ方が効果的に学習できるのに対し、場独立型の学習者は実際の文章や会話経験から文法規則を発見していく方が効果的に学習できることが示されている。

【No. 55】 言語獲得や言語に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 知覚、概念、推論などを含む思考の諸相は言語によって決定されるという仮説を言語相対性仮説といい、その提唱者の名前をとって、キャンノン＝バード説とも呼ばれる。言語相対性仮説の論争の中で最も注目されているのは、対象の形態とその名前の音との関係である。例えば、E.R. ハイダー（Heider, E. R., 1972）の実験が有名であり、現代に至るまで言語と思考の関係についての議論は続いている。
2. 人の言語獲得について、G. レイコフら（Lakoff, G. & Johnson, M., 1980）は、人間には聞いた会話文や発話の内容から文法を抽出する言語獲得装置が生得的に備わっていると仮定した。彼らは、特定の言語の文法的な文を全て生成し、非文法的な文を生成しない仕組みを持つような生成文法を理論化した。さらに、生成文法では、言語とその他の認知機能が不可分の関係であるとみなし、言語から様々な認知機能を解明する立場をとった。
3. 第二言語獲得には、言語獲得の様々な側面に応じて厳密な臨界期があることが実証されている。J.S.ジョンソンら（Johnson, J. S. & Newport, E. L., 1989）は英語を第二言語として学んだ米国移住者たちを対象に英語文法知識の成績を調べ、17歳未満で移住した人たちは英語母語話者との成績に差がないが、17歳以降に移住した人たちは成績が悪く、第二言語獲得も年齢に依存することを明らかにした。
4. 不慣れな外国語を使っている最中は、その外国語を使うのが難しいだけでなく、思考力も一時的に低下するように感じることもある。この現象は外国語副作用と呼ばれている。これは、外国語の処理は、母語の処理よりも負荷が大きく、処理と同時に行う思考に対する干渉が母語の場合よりも大きくなるために生じるとされている（Takano, Y. & Noda, A., 1993）。
5. 二つの言語を使用できるバイリンガルの人が、第二言語を使用するとき、母語の言語が思考に影響を与えることはない。また、二つの言語を完璧に操るバイリンガルは、二つの言語のそれぞれの母語話者と同じ情報処理システムを同時に二つ持っており、使う言語の文法によってスイッチを入れ替えるようにして言語を使い分けている（Jarvis, S. & Pavlenko, A., 2008）。

No. 56～No. 60 はⅢ部**科目 5. 教育経営学**です。

**科目 1 ～科目 14 のうちの任意の 4 科目を選択し、合計 20 題を解答**してください。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 56】 我が国の学校統廃合と男女別学・共学に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 文部科学省は、2015年に「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を策定した。学校規模の適正化が課題となった理由として、少子化の進展や、地域コミュニティの衰退、三世帯同居の減少、共働き世帯や一人親世帯の増加、世帯当たりの子供の数の減少といった背景の中での家庭や地域における子供の社会性育成機能の低下が挙げられている。
2. 公立の小学校・中学校においては、第二次ベビーブーム以降 2000 年代に入るまで、学校数の増加が続く一方で、人口減少地域においては極端な小規模学校が誕生した。こうした学校規模の地域間格差を解消するために、文部科学省が全国一律の基準に基づいて学校統廃合を実施した結果、2000 年代後半以降、公立の小学校・中学校数は減少に転じている。
3. 国公立学校における男子校・女子校・共学校\*の割合は、社会状況に応じて変化している。第二次世界大戦後、教育における男女平等の施策が打ち出され、国公立大学への女子学生の受入れが始まった。また、1947 年、教育基本法に「男女共学」を全ての国公立学校に義務付ける規定が設けられた結果、国公立学校の男女共学化が進められた。
4. 高等学校における学校統廃合をめぐる動向は、法改正や社会のニーズとも関連している。2006 年の教育基本法の改正で「男女共学」の項目を削除してから現在まで、私立高等学校は男子校・女子校ともにその数が増加し続けている。一方、少子化に伴い生徒数確保のため共学化を必要とする学校に対応するため、私立学校法は男女共学化に関する規定を現在も維持している。
5. 学校統廃合は、高等教育においても進められており、現在、文部科学省は大学の再編・統合に関する検討を行っている。国立大学は、全国的な教育の機会均等を確保するためにこれまでの体制を維持することとされ、私立大学については、学部・学校間の統合・合併が議論されているが、2021 年度末現在、実際に統合・合併がなされた私立大学はない。

\* 文部科学省は、「学校基本調査」において、男子校あるいは女子校という分類ではなく、現実に在学している生徒の状況により「男のみの学校」、「女のみの学校」、「男女ともにいる学校」と分類している。



【No. 57】 中央教育審議会答申「今後の地方教育行政の在り方について」(1998年9月)では、学校の自主性・自律性の確立の必要性について言及されている。自律的な学校経営に関する記述A～Dのうち、妥当なもののみを挙げているのはどれか。

- A. 職員会議は、全教職員の学校経営への参画の機会を保障するためのものであると、学校教育法施行規則で定められている。職員会議が、学校経営における合議制の意思決定機関として位置付けられているため、学校経営の責任の所在は、教職員組織となっている。
- B. 学校評価の方法は、文部科学省のガイドライン\*において、学校の教職員による自己評価、保護者や地域住民による学校関係者評価、直接的な利害関係を持たない外部評価者による第三者評価に整理されている。このうち、自己評価については、学校教育法施行規則上、その実施が学校に義務付けられている。
- C. 保護者や地域住民が校長の学校経営を支援する制度として、学校評議員制度がある。学校評議員は、校長の推薦により保護者や地域住民等のうちから委嘱され、校長の求めに応じて学校経営に意見を述べることができると、学校教育法施行規則で定められている。
- D. 現在、校長の資格要件として、教員免許状は必須であるが、自律的な学校経営を行う上で、民間経験者の管理職の登用が求められてきた。そこで、主幹教諭の資格要件を緩和し、教員免許状がなくとも任命権者による採用・任命ができるようになった。

\* 「学校評価ガイドライン」(平成28年改訂)

- 1. A、B
- 2. A、D
- 3. B、C
- 4. B、D
- 5. C、D

【No. 58】 小中一貫教育に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 小中一貫教育制度は、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指すものであり、小中一貫教育の基本形として、義務教育学校と連携型小学校・中学校の2類型に大別される。小中一貫教育の導入により、児童生徒の学習意欲の向上や、いわゆる「小1プロブレム」の解消、社会性育成機能の強化などが目指されている。一方で、小中一貫教育の課題として、児童生徒の人間関係の固定化、教職員の負担感・多忙などが挙げられる。
2. 小中一貫教育は、長年にわたり地方自治体や学校現場における実践の蓄積があった上で、正式に制度として位置付けられたものであり、学校教育法において、「地方公共団体は小中一貫教育の導入に努めなければならない」と定められている。「令和3年度学校基本調査」によると、令和3年5月時点で、全小学校・中学校のうち小中一貫教育を導入している割合は8割を超えている。
3. 平成27年の学校教育法改正により、9年間の義務教育を一貫して行う義務教育学校の設置が可能となった。義務教育学校では、9年間の教育課程のうち、最初の4年間に前期課程、中間の3年間に中期課程、最後の2年間に後期課程として区分すると定められており、各学校の実情に応じた義務教育の実践を期して、小学校及び中学校の学習指導要領を準用する必要はないとされている。
4. 義務教育学校に配置される教員は、原則として、小学校及び中学校の教諭の免許状の両方を併有することが必要となっている。一方で、地域によっては免許状の併有者の割合が非常に低い場合もあり、教員の確保が困難となる事態が想定されることから、義務教育学校制度の推進及び円滑な学校運営のため、当分の間、小学校又は中学校の教諭の免許状を有する者であれば、指導を可能とする経過措置が設けられている。
5. 小中一貫教育の推進等を受け、令和3年の中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」において、9年間を見通した新時代の義務教育の在り方を検討していくことが必要とされた。これを受けて、令和4年度から、国として小学校6年間を通じた教科担任制を段階的に導入することとし、これに伴い、既に小中一貫教育を導入している学校については、小学校6年間を通じた教科担任制の導入が義務化された。

【No. 59】 教員免許状に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 普通免許状は、大学等で開講される教職課程を修了することで取得することができる。取得学位に応じて区分がなされており、四年制大学の教職課程を修了することで二種免許状、大学院修士課程を修了することで一種免許状を、それぞれ取得することができる。
2. 特別免許状及び臨時免許状は、普通免許状を持たない社会人を教員として採用するために設けられた免許状である。学校の設置者が実施する研修に参加し、研修修了時の認定試験に合格することによって授与されるもので、全国の学校で有効である。
3. 文部科学省は、令和3年度に全国調査を実施し、学校へ配置する予定の教師の数に欠員が生じる「教師不足」の状況が発生している実態を明らかにした。そこで、教師不足に対応するため、特別免許状及び臨時免許状を活用することなどを、文部科学省から全国の教育委員会に対して依頼した。
4. 教員免許更新制度の廃止により、普通免許状の有効期間が無くなり、更新制度の廃止時点で既に失効している普通免許状は、手続なく、有効なものと同扱われることとなった。一方で、特別免許状と臨時免許状は、教員の質を確保するため、有効期間が設定されている。
5. 第二次世界大戦前は、高等教育機関である師範学校と各府県に設置された国立大学により、教員免許状の授与が行われた。第二次世界大戦後は、大学による教員養成の原則によって、大学による専門教育が行われ、開放制の原則によって、私立大学も教育学部を設置すれば教員養成が可能となった。

【No. 60】 教育課程の編成及び実施に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 小学校等において、文部科学省が不登校状態であると判断した児童生徒を対象として、文部科学大臣の指定によりその実態に配慮した特別の教育課程を編成して教育を実施することができる。不登校児童生徒の実態への具体的な配慮として、家庭訪問や保護者への支援等に加えて、学習状況に合わせた少人数指導が挙げられており、指導上の工夫として必要があれば、不登校児童生徒以外の児童生徒も併せて特別の教育課程の対象とすることができる。
2. 児童生徒が日本語を用いて学校生活を営むとともに学習に取り組む上で必要な日本語の指導は、特別の教育課程の編成・実施として行うことができる。ただし、公平性の観点から、在籍学級の教育課程の時間に追加する形態でのみ認められており、文部科学省の調査<sup>\*1</sup>によると、学校において特別の配慮に基づく日本語指導を受けている者のうち、特別の教育課程による日本語指導を受けている者の割合は、平成 26 年度以降現在まで一貫して減少している。
3. 文部科学省は、先進的な科学技術や理数系教育を通して、生徒の探究能力や国際性を培い、将来国際的に活躍し得る科学技術人材の育成に資する教育課程に関する研究開発を行う国際バカロレア・ディプロマ・プログラム認定校の拡大を図っている。これは、認定した学校で現行教育課程の基準の下での教育課程の改善に関する研究開発を行うこととするものであり、現行教育課程の基準によらない教育課程の編成・実施は認めていない。
4. 令和 2 年度、新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休校や分散登校の長期化などにより、各学校で年度内に計画していた指導を終えられない場合に、その指導内容を次学年以降に移して教育課程を編成することができる特例的な措置が設けられた。ただし、義務教育段階の学校については、児童生徒の発達の段階に応じた各教科等の目標の確実な達成の要請が強いことから、この措置の適用は認めないこととされた。
5. 現行学習指導要領<sup>\*2</sup>では、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメントを、教職員が役割を分担しつつ相互に連携しながら行うとされている。これに関する学校裁量の幅を拡大させ、探究的な学習の充実等に資するより効果的な教育を実施するため、義務教育段階において、一定の要件の下、学校教育法施行規則に定める各教科の標準授業時数を下回った特別の教育課程の編成が認められている。

\*1 「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」(令和 4 年 3 月速報)

\*2 平成 29 年告示の幼稚園教育要領、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領、特別支援学校幼稚部教育要領、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領、平成 30 年告示の高等学校学習指導要領及び平成 31 年告示の特別支援学校高等部学習指導要領

No. 61～No. 65 はⅢ部**科目 6. 教育方法学**です。

**科目 1～科目 14 のうちの任意の 4 科目を選択し、合計 20 題を解答**してください。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 61】 明治期から大正期にかけての教育の動向に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 元田永孚が設立した成城小学校では、個性尊重の教育、自然と親しむ教育、心情の教育、科学的研究を基とする教育を創設の趣旨とし、小学校令施行規則よりも少ない 30 人を限度とした 1 学級編成を行った。また、米国の H. パーカーが考案した「自由」と「協同」を基本原理とする学習法であるヴァージニア・プランを導入した。
2. 女子教育については、1872 年の学制で小学教育は男子と同等とされたものの、それ以上の学校は、女子師範学校を除けば設置されることはなく、1879 年の教育令においては、男女が教場を同じくすることが禁じられていた。他方、1903 年の専門学校令により、成瀬仁蔵による女子英学塾、津田梅子による東京女医学校など、女子の専門学校が認められた。
3. 幼稚園については、F. フレーベルが設立した教育施設に「子どもの庭園」を意味する「Kindergarten(キンダーガルテン)」と命名したことにその起源があるとされ、我が国では、1876 年に F. フレーベルの幼稚園を模範とした東京女子師範学校付(附)属幼稚園が設立された。開園当初の付属幼稚園の園児は、上流階級や富裕階級の子供が多くを占めていた。
4. 福沢諭吉が開設した慶應義塾に続き、大隈重信らは東京法学社を、新島襄らは同志社英学校を創設し、私立学校の多くは専門学校として認可された。政府は、1918 年に大学令を制定し、官立大学以外にも公立大学の設置を認めたが、私立大学の設置については、第二次世界大戦後まで認めなかった。
5. 小学校の教科書は、国定教科書が使用されていたが、紙質が粗悪で、高価であるなどの批判がなされた上、国定教科書を発行する教科書会社と文部省官吏との間に贈収賄事件が発覚するなどした。そのため、1903 年に小学校令を改正し、文部大臣による検定制度を実施し、教科書の採択は、地方長官が任命した審査委員によって、府県一律に行われるようになった。

【No. 62】 我が国の学習論に関する記述A～Dのうち、妥当なもののみを挙げているのはどれか。

- A. 第二次世界大戦後、J. デューイの反省的思考の流れをくむ米国の経験主義を背景に、問題解決学習の考え方が広がった。問題解決学習は、教師が子供に題材を与え、それを理解させるのではなく、子供自身がまず問題を把握し、主体的な究明活動を行うことを求めた。しかし、基礎・基本的な知識の獲得が困難であるという批判が高まり、そこから、問題解決学習か系統学習かという論争が繰り広げられた。
- B. 1970年代初頭に、「わかる授業」に対する批判として「たのしい授業」の主張が登場した。なかでも、板倉聖宣は、「たのしい授業」では、単に、「たのしさそのものが目的」となる授業ではなく、「わからせるためにたのしくする」授業の在り方を示そうとした。「たのしい授業」が主張する「たのしさ」とは、科学など研究活動自体が「たのしい」こと、そして、学ぶ側である子供の気持ちを理解するために、教える側である大人が「たのしさ」を実感できることであった。
- C. 1980年代中頃、東京都の小学校教師である斎藤喜博が「跳び箱は誰でも跳ばせられる」というスローガンの下、教育技術の法則化運動を展開した。この運動では、大学などにおける教育研究の観念性や、経験豊富な教師から若い教師へと教育技術を継承していくという「ワンウェイ型」の情報文化を重視し、先人の授業に内在する優れた授業の法則を見いだすことによって、系統的な指導法の確立を目指した。
- D. 2000年代頃、学習内容の理解や習熟の程度に応じ、弾力的に学習集団を編成するなどの「個に応じた指導」の一層の充実が必要とされた。「個に応じた指導」に着目する指導モデルには、学習者の進度に応じた学習条件の整備により、目標とする教育内容をほぼ全ての子供が完全習得することを目指すマスタリー・ラーニングや、複数の教員が協力し、一定の責任分担の下に、同じ児童生徒のグループを指導するチーム・ティーチングの実施などが挙げられる。

1. A、B
2. A、D
3. B、C
4. B、D
5. C、D

【No. 63】 次は、アクティブ・ラーニングに関する記述であるが、A～Dに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

なお、文中の            については設問の都合上伏せてある。

著作権の関係のため、掲載できません。

A	B	C	D
1. collaborative	dynamic	passively	engagement
2. collaborative	dynamic	positively	achievement
3. collaborative	static	passively	achievement
4. systematic	dynamic	passively	achievement
5. systematic	static	positively	engagement

【No. 64】 青少年の社会参画と自立に向けた教育に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成するため、先進的で卓越した取組を行う専門高校をマイスター・ハイスクールに指定し、実践研究を行っている。また、高い職業意識の育成が促進されることから、インターンシップの普及も進み、令和元年度においては、公立高等学校(全日制及び定時制)の普通科又は職業に関する学科のいずれの在籍であっても、8割を超える生徒が在学中にインターンシップを体験している。
2. 最高裁判所では、法律の専門家ではない一般の人々が、法や司法制度、これらの基礎になっている価値を理解し、法的なものの考え方や公正な判断力、社会への参加意識を身に付けるための教育(法教育)を推進している。具体的には、法教育に関するリーフレットの作成や配布を通じた学校現場における法教育の充実、成年年齢引下げを踏まえ、国民皆保険・皆年金を始めとする社会保障の考え方を学ぶことができる高校生向けのリーフレットの配布などに取り組んでいる。
3. 一人暮らしの規則正しい生活習慣作りを目的に、高校生及び大学生を対象にして、文部科学省は「早寝早起き朝ごはん」国民運動を推進している。子供の頃、規則正しい生活を送っていた人ほど、大人になった現在の自尊感情や規範意識等の資質能力が高いなどの調査\*結果が出ており、「早寝早起き朝ごはん」フォーラム事業を実施するとともに、高校生及び大学生の基本的な生活習慣の維持・定着・向上を図るための「早寝早起き朝ごはん」推進校事業を行っている。
4. 「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」を踏まえ、法務省は、子供が性暴力の加害者にならないための「生命(いのち)の安全教育」を推進している。刑務所の職員が、刑務所で実施している「性犯罪再犯防止指導」のプログラムを使用して、性犯罪に至らないための具体的な方法を身に付けるための教育を中学校及び高等学校で行い、さらに希望する生徒に対しては、電話での相談に応じたり、オンラインによる個別指導を実施したりしている。
5. 選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられたことを受け、自身が課題を多面的・多角的に考え、自分なりの考えを作っていく力を育むことが重要となった。平成30年に公示された高等学校の学習指導要領では、現代社会の諸課題を捉え、その解決に向けて、社会に参画する主体として自立することや他者と協働してよりよい社会を形成することについて、考察し、選択・判断する力を育む科目として「公共」が新たに設置された。

\* 『「早寝早起き朝ごはん」の効果に関する調査研究』(令和3年発表)



【No. 65】 教育におけるメディアに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 教育におけるメディアとは、教授・学習において何らかの媒介的役割を果たすものを意味し、教材・教具からマスメディアまで広く適用される概念である。古代ギリシャの哲学者アリストテレスは、「洞窟の比喩」で何物にも媒介されない善のアイデアの重要性を論じ、ドイツの教育学者 J. F. ヘルバルトは、実物を提示する教科書として『世界図絵』を著し使用したが、これらはメディアが教育の思想や方法に影響を与えた一例である。
2. 教育におけるメディアには、音声、書字、印刷、電子等の多様な形態があり、教室や授業でのコミュニケーションの在り方を変化させている。例えば、江戸時代の手習塾(寺子屋)においては、師匠が書き与えるお手本や往来物に倣いながら筆で繰り返し書く「手習い」や、経書等を師匠が読み上げるのに従って声に出して読むことを繰り返す「素読」といった、身体を通しての学びが主となっていた。
3. 明治期における我が国の学校では、しだいに毛筆から、何度も繰り返し書き、消すことができる石筆と石盤が使用されるようになり、小学校では、子供たち一人一人の習熟度や興味・関心に合わせた個別学習が主流となった。これは、江戸時代の手習塾における師匠の注入的教授法に基づく一斉授業の教育様式とは対照的であり、教育方法を大きく変化させる上で、新たな文具が役立った一例である。
4. 我が国の学校で紙のノートと鉛筆が使用され始めたのは第二次世界大戦後であり、ノートと鉛筆の、子供が試行錯誤を繰り返す学習のプロセスを残すことができるという特性を生かした活動の一つが、特に東北地方で広がった生活綴方運動であった。これは、子供の想像力を生かした空想の生活世界を豊かに表現するもので、その実践の一部は、詩作や物語創作として現在の国語教育に継承されている。
5. 現在の学校では、紙のノートと鉛筆から、タブレットやパソコンなどのデジタル文具・教材の使用が広がっている。新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン教育を実施するため、学校教育法に教科書として使用できるものとしてデジタル教科書を新たに規定するとともに、全ての紙の教科書を廃止してデジタル教科書に置き換えるという GIGA スクール構想が打ち出され、その開始が決定された。

No. 66～No. 70 はⅢ部**科目 7. 社会福祉総論**です。

**科目 1 ～科目 14 のうちの任意の 4 科目を選択し、合計 20 題を解答**してください。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 66】 欧米諸国における社会保障・社会福祉の制度に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. スウェーデンでは、年金、児童手当、疾病手当などの金銭給付は、我が国の県に相当する広域自治体(レギオン)によって提供されている。一方、保健・医療サービスと、高齢者福祉サービス、障害者福祉サービスなどの福祉サービスは、我が国の市町村に相当する基礎的自治体(コミューン)によって提供されている。
2. 米国では、2018年に、TANF(貧困家庭一時扶助)が従来のAFDC(要扶養児童家庭扶助)に代わって新たに導入された。AFDCにおいては、児童を扶養している一人親世帯は、経済的状況に関わらず必要な期間に給付を受けられたが、TANFでは、新たに資力調査が課され、給付を受けられる期間が、特別な理由がない限り生涯で12か月、継続で3か月に制限された。
3. 英国では、1942年に、全ての住民に包括的な保健医療サービスを原則無料で提供することを目的として、NHS(国民保健サービス)が創設された。創設時のNHSにおいては、医療機関を国営化するとともに、医師や看護師等医療従事者を公務員とし、国民保険の保険料を主たる財源として、医療サービスが提供された。
4. フランスでは、主な公的扶助制度の一つとして、1950年代に導入されたRSA(積極的連帯手当)がある。これは、新たに就労を再開した場合に給付を行うことで、少しでも働いた方が給付と合わせて収入が増える仕組みである。県は受給者に就労支援サービスを提供することになっており、受給者はそれを任意に利用することができる。
5. ドイツでは、過去には社会扶助(Sozialhilfe)が、労働能力の有無に関係なく貧困者を対象としていたが、1990年代以降失業者が増加する中、2000年代に入り、就労可能な要扶助者を対象とする新しい制度として求職者基礎保障(Grundsicherung für Arbeitsuchende)が創設された。

【No. 67】 児童の権利擁護の理念及び取組の推移に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 産業革命を契機に低賃金労働者として児童労働の需要が高まり、それと同時に子どもの劣悪な労働環境が問題となった。そのためスウェーデンにおいて世界で最初の工場法が成立し、児童の労働時間の制限、幼年者の雇用禁止、児童教育の義務などが定められた。同法成立の背景には、児童の教育権の大切さを主張した E. ケイの直接的な働き掛けがあった。
2. 第二次世界大戦直後に我が国で閣議決定された児童憲章は、連合国軍最高司令官総司令部 (GHQ) によって作成されたものである。「児童は、人として尊ばれる。」、「児童は、社会の一員として重んぜられる。」、「児童は、よい環境の中で育てられる。」の三つの基本綱領と、12 か条の本文から成るこの憲章は、戦後の我が国における児童福祉の理念を示すものであった。その後、昭和 22(1947)年の児童福祉法の成立により、具体的な取組が示された。
3. 昭和 34(1959)年に国連総会で採択された児童の権利に関する宣言は、児童の権利に関するジュネーブ宣言とも呼ばれ、児童を社会的保護の対象として位置付けている。全 5 か条から成り、前文において「人類は、児童に対し、最善のものを与える義務を負う」と初めて宣言した。同宣言の背景には、第二次世界大戦で多くの子どもたちの命が奪われたことへの反省があった。
4. 平成元(1989)年に国連総会で採択された児童の権利に関する条約では、児童を保護の対象とするだけでなく、児童を権利行使の主体とし、自己の意見を形成する能力のある児童がその児童に影響を及ぼす全ての事項に自由に意見を表明する権利を認めている。この場合において児童の意見は、その児童の年齢及び成熟度に従って相応に考慮されるものとされている。
5. 我が国は、児童の権利に関する条約を批准したことを受け、平成 9(1997)年の児童福祉法改正において「児童の権利に関する条約の理念にのっとり」という文言を第 1 条に明記した。この改正により、都道府県は、「子どもの権利ノート」を作成し、児童福祉施設を利用する全ての子どもたちに対して配布、説明することが義務付けられた。

【No. 68】 我が国の高齢者に関する保健医療・福祉制度の発展過程についての記述として最も妥当なのはどれか。

1. 世界恐慌を背景に制定された救護法は、我が国で初めての無差別平等の原則による救済制度とされる。同法により施設での救済が原則とされ、65歳以上の老衰者を対象とする代表的な施設として、東京市養育院などが政府によって設立された。
2. 第二次世界大戦後、社会保障制度審議会勧告により制定された生活保護法では、老衰のために独立して日常生活を営めない要保護者を収容し、介護と生活扶助を行う施設として、養老施設が規定された。また、この施設での保護に要する費用の大部分は、民間の篤志家からの寄附で賄われた。
3. 高度経済成長期に制定された老人福祉法は、経済的援助としての老人への施策から脱却し、老人の健全で安らかな生活を保障することなどを理念としている。同法において各種の老人福祉施設が規定されるとともに、老人家庭奉仕員派遣制度が法的に位置付けられるなどした。
4. 老人医療の在り方を見直す議論を受け、制定された老人保健法では、原則として75歳以上の者の医療については老人保健制度によって運営することが規定された。同制度において、老人の医療費自己負担が無料化され、65歳以上の者を対象とする健康診査など疾病の予防策も実施されることとなった。
5. 老人保健福祉審議会報告を受け、制定された介護保険法は、高齢者の自立支援を理念に掲げるとともに、それを措置制度によって対応しようとする制度として始まった。その後の法改正で介護予防の重要性も強調され、40歳以上を対象とする特定健康診査・特定保健指導も実施されることとなった。

【No. 69】 我が国の成年後見制度(法定後見制度)に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 「意思決定支援を踏まえた後見事務のガイドライン」において、代行決定を行う場合に、後見人等は、意思決定が困難な人にとっての客観的な利益を重視し、まずは本人と信頼関係にある親族等の意思に基づき行動することを基本とするものとされている。また、一度代行決定が行われた場合は、次の意思決定の場面においても、本人の意思決定能力がないとみなして、代行決定を行うものとされている。
2. 法定後見制度は、本人の判断能力が不十分になった後、都道府県知事によって成年後見人等が選ばれる制度であり、本人の判断能力によって、「後見」、「保佐」、「補助」の三つの制度がある。「後見」は本人の判断能力が不十分な場合に、「保佐」は本人の判断能力が著しく不十分な場合に、「補助」は本人の判断能力が欠けているのが通常の状態である場合に、それぞれ後見人、保佐人、補助人が選任される。
3. 法定後見制度を利用できるのは、知的障害や精神障害、認知症などによって、判断能力が十分でない者である。申立時の判断能力の程度に関しては、検察官が作成する「本人情報シート」に基づき判断される。令和3年において、後見等の開始原因は、知的障害が最も多く、約6割となっている。
4. 成年後見人、保佐人、補助人には、本人の親族以外にも、司法書士、弁護士、社会福祉士や市民後見人のほか、社会福祉協議会やその他の法人が選ばれる場合もある。また、複数の成年後見人、保佐人、補助人を選ぶことも可能である。令和3年において、親族以外の第三者が成年後見人、保佐人、補助人に選任されたものは、全体の約8割となっている。
5. 成年後見関係事件\*の主な申立ての動機は、令和3年において、「身上保護」が約7割で最も多く、次いで「訴訟手続等」が約2割となっている。申立ては、本人以外が行うものとされており、令和3年において、申立人は、市区町村長が約6割で最も多く、次いで親族(配偶者、親、子、兄弟姉妹、その他親族)が約3割となっている。

\* 後見開始、保佐開始、補助開始及び任意後見監督人選任事件

【No. 70】 次は、貧困研究に関する記述であるが、A～Eに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

ただし、Dには㊦又は㊧のいずれかが入る。

著作権の関係のため、掲載できません。

	A	B	C	D	E
1.	Seebohm Rowntree	lifestyles	deprivation	㊦	50 or 60
2.	Seebohm Rowntree	lifestyles	starvation	㊧	50 or 60
3.	Seebohm Rowntree	incomes	deprivation	㊦	10 or 20
4.	Charles Booth	lifestyles	starvation	㊦	50 or 60
5.	Charles Booth	incomes	starvation	㊧	10 or 20

No. 71～No. 75 はⅢ部**科目 8. 社会福祉各論**です。

**科目 1～科目 14**のうちの任意の**4科目**を選択し、合計**20題**を解答してください。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 71】 我が国の年金に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 国民年金の第2号被保険者の配偶者であり、年収が200万円の者は、国民年金の第3号被保険者となる。また、従業員101人以上の企業の従業員であって、労働時間が通常の労働者の2分の1であり、かつ、週20時間未満である年収200万円の短時間労働者は、国民年金の第2号被保険者となる。
2. 20歳以上の学生には国民年金に加入する義務があるが、本人の所得が一定額以下の場合には、在学中の保険料について、10年以内の期間にわたって追納することを認める学生納付特例の制度がある。また、学生等でない50歳未満の国民年金の第1号被保険者についても、同様に納付猶予の制度がある。
3. 障害基礎年金の給付額は、定額であり、保険料納付済期間と保険料免除期間とを合算した期間が25年未満の場合、2級の障害基礎年金として、満額の老齢基礎年金と同額が給付される。保険料納付済期間と保険料免除期間とを合算した期間が25年以上の場合、1級の障害基礎年金として、2級の障害基礎年金の1.25倍の額が給付される。
4. 遺族基礎年金の給付額は、満額の老齢基礎年金の額に、保険料納付月数を480で除した数値を乗じた額である。遺族厚生年金の給付額は、死亡した者の老齢厚生年金の額の4分の3であり、18歳未満の子がいる場合、子一人につき一定額が加算される。
5. 企業型確定拠出年金は、拠出された掛金とその運用収益との合計額を基に、将来の給付額が決定される年金制度であり、掛金は、事業主が3分の2、加入者が6分の1、国が6分の1を負担する。確定給付企業年金は、年金給付の額を決めておき、その給付額を確保できるように事業主が掛金を拠出する年金制度であり、厚生年金基金が保険者となり、拠出金の運用を行う。

【No. 72】 我が国の労働保険に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 労働者災害補償保険の適用事業は、農業、林業、漁業、宿泊業、飲食サービス業、宗教を除く、全ての事業である。適用事業に使用され、労働者災害補償保険が適用される労働者は、日々雇い入れられる者及び2か月以内の期間を定めて使用される者を除く、賃金が支払われる全ての労働者である。
2. 労働者災害補償保険の給付を受けるためには、被災労働者は公共職業安定所の認定を受ける必要がある。業務災害であるかどうかの認定は、業務起因性の有無を審査することによって行われ、業務起因性とは、労働者が適用事業所に雇用されており、事業主の支配下にあることをいう。
3. 労働者災害補償保険の保険料は、雇用保険の保険料と併せて、労働保険料として徴収される。労働保険料の額は、その事業に使用される全ての労働者に支払われた賃金総額に、労働者災害補償保険の保険料率と雇用保険の保険料率を足した率を乗じて得られる額であり、労働者災害補償保険の保険料は全額事業主が負担する。
4. 雇用保険の基本手当は、疾病や負傷のため直ちに就職することが困難な場合や定年退職後休養する場合に支給することができる。その所定給付日数は、疾病や負傷の場合は360日、定年退職の場合は90日とされ、支給額は、疾病や負傷の場合は、離職した日の直前6か月の平均日額の50%、定年退職の場合は、80%である。
5. 雇用保険の給付に要する財源は、事業主と労働者が負担する保険料であり、事業主が3分の2、労働者が3分の1を負担する。一方、雇用安定事業と能力開発事業から成る雇用保険二事業の財源は全額公費であり、国が2分の1、都道府県が2分の1を負担する。



【No. 73】 我が国の公的医療保険の制度に関する記述として、最も妥当なのはどれか。

1. 健康保険の保険者には、健康保険組合と全国健康保険協会の2種があり、法人又は従業員5人以上の適用事業所では健康保険組合の事業所単位での設立が強制され、その事業所の被用者はそれぞれの健康保険組合の被保険者となる。非法人で従業員5人未満の小規模事業者の被用者は、全国健康保険協会の被保険者となる。
2. 国民健康保険には、都道府県等が行う国民健康保険と、国民健康保険組合によるものがある。前者は、かつては市町村が保険者であったが、現在は、都道府県と市町村が共同して保険者となっている。後者は、医師、理美容師、土木建築業などの職種や業種に応じて設立されている。
3. 国家公務員と地方公務員は、かつては、それぞれ、国家公務員共済組合法、地方公務員等共済組合法に基づき、社会保険庁を保険者とするそれぞれの共済制度に基づく医療保険給付の対象になっていたが、その後、社会保険庁による医療保険給付が全国健康保険協会管掌健康保険に統合され、公務員も民間被用者と同様、いわゆる協会けんぽの被保険者になることとなった。
4. 後期高齢者医療制度の保険者は、後期高齢者医療広域連合である。後期高齢者医療広域連合は複数の都道府県が共同して設立する特別地方公共団体であり、都道府県ごとに支部を置くこととされている。また、保険料にそれぞれの都道府県の医療給付費を反映させ、地域間の公平を図るため、保険料は支部ごとに決めることとされている。
5. 国民健康保険と後期高齢者医療制度では、世帯主も世帯員もそれぞれが被保険者となるが、保険料は世帯単位で決まり、世帯員の分も含めて世帯主が負担する。健康保険においては、適用事業所の被用者が被保険者となり、被用者の被扶養者は家族被保険者となる。保険料は、被用者分については被用者と事業主が負担するが、被扶養者である家族被保険者分には事業主負担部分はない。

【No. 74】 我が国の低所得者支援に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 無料低額宿泊所は、生計困難者のために、無料又は低額な料金で、簡易住宅を貸し付け、又は宿泊所その他の施設を利用させる事業を行う施設であり、社会福祉法に規定する第二種社会福祉事業の対象である。令和2年において、運営主体は、社会福祉法人もあるが、最も多いのはNPO法人である。
2. 生活福祉資金貸付事業は、市区町村社会福祉協議会が実施主体及び窓口となって運営している事業であり、民生委員は、貸付事業の運営に積極的に協力するものとされている。同事業では、緊急小口資金や住宅入居費などの貸付けのほか、福祉資金の福祉費として、大学や高等専門学校への入学に際し必要な経費の貸付けを実施している。
3. 臨時特例つなぎ資金貸付制度とは、離職などに伴い、住居を喪失し、その後の生活維持が困難になっている離職者に対し、300万円を上限とした当座の生活費の貸付けを行う制度である。ただし、離職者を支援する公的給付制度(失業等給付など)又は公的貸付制度(就職安定資金融資など)の申請が受理されている者は、貸付けの対象外となる。
4. 生活保護法における扶助は、生活扶助、教育扶助、住宅扶助、医療扶助、介護扶助、出産扶助、葬祭扶助の7種類であり、金銭給付と現物給付の方法がある。このうち介護扶助は、介護保険の第1号被保険者であって、普通徴収の方法によって保険料を納付する者に対して行う金銭給付である。
5. 生活困窮者自立相談支援事業とは、生活保護法に規定された住宅扶助による現物給付であり、一定の住居を持たない生活困窮者に対し、最長3年の期間にわたり、宿泊場所の供与、食事の提供その他当該宿泊場所において日常生活を営むのに必要な便宜を供与する事業である。

【No. 75】 ソーシャルワークにおけるスーパービジョンとコンサルテーションに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. A. カデューシンによると、スーパービジョンは、最良のサービスを利用者に提供することを目指しており、その機能として管理的機能、教育的機能、支持的機能がある。このうち支持的機能は、スーパーバイザーを心理的にサポートしたり、自己覚知を促したりするものである。
2. グループスーパービジョンは、受け手側一人に対して、複数の専門家が助言・指導を行うものである。医療や司法などある特定の領域についての知識・技能が必要なとき、その領域の専門家を招き、助言・指導を受けるもので、多機関連携の一形態とされる。
3. ピアスーパービジョンは、同僚や仲間どうしで、一対一に限定して行うものである。スーパーバイザーが不在であるため、事例や現に抱えている課題は扱うことができないが、互いに心情を吐露し、支え合うことで、燃え尽き症候群を防止する機能がある。
4. スーパービジョンがソーシャルワーカーの援助活動に対して行うものであるのに対し、コンサルテーションは、専ら組織全体を対象とし、その経営について外部の専門家が助言・指導を行うものであり、スーパービジョンにおける管理的機能を担う。
5. 国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)によると、スーパービジョンは、業務遂行に関して何らかの課題があり、その解決が必要であると考えられるときに限定して行われるとされている。一方、コンサルテーションは、定期的に行われることが重要であるとされている。

No. 76～No. 80 はⅢ部**科目 9. 福祉計画論**です。

**科目 1 ～科目 14 のうちの任意の 4 科目を選択し、合計 20 題を解答**してください。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 76】 我が国の社会福祉分野における資格等に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 社会福祉主事は、都道府県、市及び福祉事務所を設置する町村に置かれ、都道府県知事又は市町村長の協力機関である職員とされている。また、民生委員・児童委員としての経験を有する者は、社会福祉主事として任用される資格を有する。
2. 保育士は、厚生労働省に備える保育士登録簿に登録されることによって、その資格を有する者として名称を使用することができる名称独占の資格である。また、保育士の資格を有する者は、幼保連携型認定こども園における保育教諭とみなされる。
3. 社会福祉士は、ソーシャルワークに従事する者の資格であり、業務独占部分を一部に有するものである。また、社会福祉士の配置が義務付けられている機関・施設等には、障害者総合支援法\*における基幹相談支援センターがある。
4. 介護福祉士は、介護に従事する者の資格であり、介護福祉士による介護を受ける対象者は原則として18歳以上と定められている。また、介護福祉士の配置が義務付けられている機関・施設等には、介護保険法における地域包括支援センターがある。
5. 精神保健福祉士は、精神障害者等に関わるソーシャルワークに従事する者の資格であり、日常生活への適応のために必要な訓練を行うことも業務に含まれる。また、精神障害者に主治の医師があるときは、その医師の指導を受けた上で業務を行うことが必要とされている。

\* 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

【No. 77】 近年の保育所における待機児童問題及び保育士不足の課題への政府の対策に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. エンゼルプラン\*は、平成6年に、大蔵、文部、厚生、労働、建設、自治の6大臣合意により策定された。また、エンゼルプランを実施するために、保育の量的拡大や低年齢児(0～2歳児)保育、延長保育等の多様な保育の充実、地域子育て支援センターの整備、保育士・保育所支援センターの設立等の事業の拡充を図るための緊急保育対策等5か年事業が策定された。
2. 次世代育成支援対策推進法は、平成15年に、以後10年間の集中的・計画的な取組を促進するため、制定された。同法は、国、地方公共団体並びに常時雇用する労働者が30人以上の企業及び事業所が、保育サービスの提供等の次世代育成支援のための取組を促進するために、それぞれ行動計画を策定し、実施していくことを義務付けたものである。この法律は、時限立法であったため、平成26年にその役割を終えた。
3. 保育士確保プランは、平成27年に、平成29年度末までに国全体として新たに必要となる保育士6万9,000人を確保するため、策定された。同プランでは、保育士試験の年2回実施の推進、保育士に対する処遇改善の実施、指定保育士養成施設で実施する学生に対する保育所への就職促進支援、保育士・保育所支援センターにおける離職保育士に対する再就職支援の強化等の取組が示された。
4. 子育て安心プランは、平成30年度から令和2年度までの計画であり、待機児童解消を図り、地方自治体が行う保育の受け皿整備の取組を支援するものである。3か年の保育の受け皿拡大の目標は約80万人であったが、新型コロナウイルス感染症の影響等により達成されたのは約40万人であった。また、同プランで初めて短時間勤務の保育士の就労を可能にし、保育士が働きやすい環境を提供することで、保育士確保の取組が行われた。
5. 新子育て安心プランは、令和3年度から令和6年度までの計画であり、令和7年の政府目標である女性就業率6割に対応するための保育の受け皿拡大を目標にしている。同プランにおいて保育士確保は、就職あっせんや潜在保育士の再就職等支援、処遇改善等の取組によって行われる。令和4年4月1日現在の保育所等を利用する児童数は約304万人で、待機児童数は約4万人であった。

\* 「今後の子育て支援のための施策の基本的方向について」

【No. 78】 我が国の医療や福祉に関する施設についての記述として最も妥当なのはどれか。

1. 診療所は、入院のための設備である病床を持たない医療機関であり、診療所を開設する場合には都道府県知事に届け出なければならない。また、病院は、1床以上の病床を有する医療機関であり、病院を開設する場合には厚生労働大臣の許可を受けなければならない。
2. 在宅療養支援診療所は、主として脳血管疾患、大腿骨頸部骨折などの患者に対し、日常生活動作の向上による寝たきり防止と家庭復帰のためのリハビリテーションを集中的に実施する診療所である。また、在宅療養支援病院は、主として長期療養が必要な重度肢体不自由児(者)、脊椎損傷等の重度障害者、筋ジストロフィー患者、神経難病患者などに療養を提供する病院である。
3. 養護老人ホームは、入所する要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて、入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行うことを目的とする施設である。また、特別養護老人ホームは、無料又は低額な料金で、老人を入所させ、食事の提供その他日常生活上必要な便宜を供与することを目的とする施設である。
4. 地域医療支援病院は、地域医療の確保のために必要な救急医療、診療所などからの紹介患者の診療、医療機器の共同利用などの機能をもつ病院であり、都道府県知事の承認を得て、地域医療支援病院と称することができる。また、特定機能病院は、高度の医療の提供、高度の医療技術の開発、高度の医療に関する研修の実施などの機能をもつ病院であり、厚生労働大臣の承認を得て、特定機能病院と称することができる。
5. 児童自立支援施設は、保護者のない児童、虐待されている児童その他環境上養護を要する児童を入所させて養護し、退所した者に対する相談その他の自立のための援助を行う施設である。また、児童養護施設は、不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境その他の環境上の理由により生活指導等を要する児童を入所又は通所させて、個々の児童の状況に応じて必要な指導を行い、その自立を支援し、退所した者について相談その他の援助を行う施設である。

【No. 79】 我が国の認知症施策に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 認知症施策推進大綱は、オレンジプラン\*による取組を更に推進させるために、厚生労働省が策定したものである。本大綱の基本的な考え方を「認知症の治療と社会的包摂を車の両輪」とすることが明記されるとともに、認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供や、認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進など、具体的な施策として七つの柱が示された。
2. 認知症対応型共同生活介護は、介護保険制度の地域密着型サービスに位置付けられており、入居者の定員は1事業所当たり30名以上と定められている。軽度から中等度の認知症高齢者を対象としているため、入居要件として、要介護1から要介護3までのいずれかの認定を受けた者と規定されている。
3. 認知症疾患医療センター運営事業は、認知症疾患に関する鑑別診断や医療相談を行うほか、地域での認知症医療提供体制の構築を図る事業である。本人や家族に対し今後の生活等に関する不安が軽減されるよう行う「診断後等支援」や、都道府県・指定都市が行う地域連携体制の推進等を支援する「事業の着実な実施に向けた取組」なども実施する。
4. 認知症初期集中支援チームは、認知症に関する専門知識を備えた複数の医師で組織され、保健所に設置されるものである。50歳以上で、認知症が疑われる者又は認知症の診断を受けた者のうち在宅で生活をしているものを対象とし、医療サービスや介護サービスを利用していない場合などに初期の支援を包括的・集中的に実施する。
5. 認知症サポーターは、介護や医療などの専門職のうち認知症サポーター養成講座を受講・修了した者とされ、認知症を正しく理解し、業務外の時間において自分のできる範囲で認知症の高齢者や家族を手助けするものである。この養成講座で講師を担う者はキャラバン・メイトと呼ばれ、保健師や社会福祉士などの資格を有する行政職員が務めることと定められている。

\* 「認知症施策推進5か年計画」

【No. 80】 我が国の犯罪被害者等に関する制度についての記述として最も妥当なのはどれか。

1. 平成 16 年、犯罪をした者等が、社会において孤立することなく、国民の理解と協力を得て円滑に社会復帰できるよう、再犯の防止等の推進に関する法律が制定された。その後、犯罪被害者等は個人の尊厳にふさわしい処遇を保障される権利を有するとして、犯罪被害者等基本法が制定され、同法において、犯罪被害給付制度が新たに規定された。
2. 全国の保護観察所には、犯罪被害者等施策を担当する者として、保護観察官のうちから指名された社会復帰調整官と、被害者担当保護司が配置されている。社会復帰調整官と被害者担当保護司は、犯罪被害者等の意見・心情等を加害者処遇に適切に反映させるため、併せて加害者の保護観察や生活環境調整等を担当することとされている。
3. 少年事件の被害について、被害者等は、申出をすれば、審判結果等の通知を受けたり、殺人などの一定の罪によるものである場合に少年審判を傍聴したりすることができる。ただし、これらの制度の利用については、少年の健全な育成を妨げるおそれがなく相当と認められる場合に限るとされている。
4. 性犯罪の被害について、平成 29 年に施行された刑法の一部を改正する法律により、強制性交等罪が規定され、被害者本人の申告がなければ公訴提起ができない親告罪となった。また、二次的被害を防ぐため、被害者等が刑事裁判に参加する被害者参加制度や、被害者等が公判期日に法廷で意見を述べる心情等の意見陳述制度は、いずれも対象外とされている。
5. 「第 4 次犯罪被害者等基本計画」(令和 3 年 3 月)の重点課題の一つに、損害回復・経済的支援等への取組がある。『令和 3 年版 犯罪白書』によると、令和元(2019)年の国外における日本人の犯罪被害は、殺人、強盗、傷害・暴行、窃盗の順に多いが、国外犯罪被害弔慰金等の支給対象は、強盗や窃盗などの財産被害に限られ、生命・身体に係る被害は対象外とされている。



No. 81～No. 85 はⅢ部**科目 10. 地域福祉論**です。

**科目 1～科目 14**のうちの**任意の 4 科目**を選択し、**合計 20 題**を解答してください。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 81】 障害者等の生活環境や社会生活に関する施策についての記述A～Dのうち、妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。

- A. 身体障害者補助犬法における身体障害者補助犬とは、盲導犬と聴導犬の2種類である。国等が管理する施設と公共交通機関の管理者は、障害者等が身体障害者補助犬を同伴することを拒んではならないが、それ以外の不特定かつ多数の者が利用する施設(ホテル、病院、商業施設等)では、その管理者の独自の判断によりその同伴を制限することができる。
- B. 住宅セーフティネット法<sup>\*1</sup>では、住宅確保要配慮者として、低額所得者、被災者、高齢者、障害者、子どもを養育している者などが規定されている。これらの人々の居住支援に取り組む団体として、都道府県知事が指定を行う住宅確保要配慮者居住支援法人が規定されている。
- C. 障害者雇用促進法<sup>\*2</sup>では、職業リハビリテーションの原則として、その措置は、「必要に応じ、医学的リハビリテーション及び社会的リハビリテーションの措置との適切な連携の下に実施されるものとする」と規定されている。それを行う施設である地域障害者職業センターには、障害者職業カウンセラーが置かれ、障害者の状況に応じて職業評価や職業準備訓練などを行う。
- D. バリアフリー法<sup>\*3</sup>では、公共交通事業者等に対し、令和12年度末までに移動等円滑化基準に適合するよう、既存施設の改修を義務付けている。その移動等円滑化基準においては、例えば、通路の幅を75 cm以上とすることなどが規定されている。

\*1 住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律

\*2 障害者の雇用の促進等に関する法律

\*3 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律

1. A
2. C
3. A、D
4. B、C
5. B、D

【No. 82】 医療的ケア児に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律において、「医療的ケア」とは、人工呼吸器による呼吸管理、<sup>かくたん</sup>喀痰吸引その他の医療行為をいい、「医療的ケア児」とは、日常生活及び社会生活を営むために週に1回以上、医療的ケアを受けることが不可欠である児童をいう。なお、医療的ケア児は児童福祉法に規定される障害児には当たらない。
2. 保育所の設置者は、在籍する医療的ケア児に対し、適切な支援を行う責務を有する。医療的ケア児が適切な医療的ケアその他の支援を受けられるようにするため、保健師、助産師、看護師若しくは准看護師又は喀痰吸引等を行うことができる保育士若しくは保育教諭の配置など必要な措置を講ずるものとされている。
3. 医療的ケア児が15名以上入所している児童心理治療施設においては、医療的ケアを担当する職員を配置しなければならない。医療的ケアを担当する職員は、児童指導員のうち指定の講習を修了した者とされており、対象児童の医療的ケア及び緊急時における対応等の業務にあたることと規定されている。
4. 医療的ケア児等総合支援事業は、人工呼吸器を装着している児童その他の日常生活を営むために医療を要する状態にある児童などの施設における受入れが促進されるよう、地方自治体の体制の整備を行うとともに、医療的ケア児等の施設生活の支援を行う事業である。同事業において、医療的ケア児が入所している自立援助ホームには、医師資格を有する常勤職員の配置が義務付けられている。
5. 医療的ケア児の支援については、その専門性等から、個々の制度の相談窓口だけでは適切な支援につなげることが難しい場合があり、医療的ケア児の家族にとっては、どこに相談をすればよいか分かりにくいという課題があった。そのため、子ども・子育て支援法において市町村に2か所以上の医療的ケア児支援センターの設置が義務付けられ、相談支援及び関係機関との調整を担うこととされた。

【No. 83】 我が国の精神保健福祉に関する法制度についての記述として最も妥当なのはどれか。

1. 精神保健福祉法\*は、精神障害者が、精神障害及び社会的障壁により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にあることを踏まえ、国及び地方公共団体の責務として、社会的障壁の除去についての必要かつ合理的な配慮を的確に行うための措置を講ずることと定めている。
2. 精神保健福祉センターは、精神保健の向上及び精神障害者の福祉の増進のため、市町村に設置が義務付けられている。精神障害者等の日常生活圏域を基盤とした地域包括ケアシステムの中核として専門技術の発揮も求められており、精神保健福祉に関する知識の普及や調査研究、相談・指導のほか、精神障害者の入院に係る医療費の支給認定の事務なども行う。
3. 精神障害者保健福祉手帳の交付対象は、精神疾患を有する者として広く捉えられており、認知症や、知的障害のみの場合も含まれる。申請があると、都道府県に設置が義務付けられている精神医療審査会において、それぞれの精神疾患の状態及び能力障害の状態について調査審議され、障害等級の総合判定が行われる。
4. 医療保護入院において、精神科病院の管理者は、医療保護入院者の退院による地域における生活への移行を促進するため、精神保健福祉士等を退院後生活環境相談員として選任し、その者に医療保護入院者の退院後の生活環境に関する相談に応じさせなければならないとされている。
5. 医療観察制度において、入院決定がなされた対象者は、都道府県知事の指定を受けた指定入院医療機関で入院による医療を受けなければならない。入院医療を行う期間については、原則として決定があった日から3年間であるが、裁判所は、通じて2年を超えない範囲で延長する決定を行うことができるとされている。

\* 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律

【No. 84】 我が国における災害時の支援施策に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 我が国の災害対策については、予防、応急、復旧・復興という災害のフェーズや、災害の種類ごとに、様々な法律によって体系化されている。その基本となる災害対策基本法は、昭和 20 (1945)年の終戦を契機に、昭和 21(1946)年に戦災対策として成立した。同法は、当面の応急救助を終えた後の復旧・復興のフェーズをその対象とする。
2. 現行の災害救助法は、応急救助の性質からして被災者の申請を待つことなく、市町村長がその職権によって救助を実施することを原則としている。また、被災者の多様な事情に柔軟に対応するために、物資や食事、住まい等についての法による救助は、金銭給付によることを原則としている。
3. 被災者生活再建支援法は、平成 23(2011)年に発生した東日本大震災を契機に、平成 24 (2012)年に成立した。自然災害によりその生活基盤に著しい被害を受けた者に対し、相互扶助の観点から全国社会福祉協議会を通じて民間団体及び一般市民等から募った義援金を活用して、被災者生活再建支援金を支給するものである。
4. 平成 23(2011)年の災害救助法の改正により、高齢者、障害者、乳幼児等は防災施策において特に配慮を要する「避難行動要支援者」とされるようになり、その中でも特に避難行動に支援を要する人々を「要配慮者」と定義するようになった。また、民生委員は、避難行動要支援者の名簿を作成することを義務付けられた。
5. 「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」では、市町村は指定福祉避難所の指定・整備数を検討するための基礎資料として、指定福祉避難所の受入対象となる者の概数を把握することとされている。これらの情報の把握に当たっては、民生委員・児童委員、身体障害者相談員、知的障害者相談員からの情報や、障害者団体からの情報も活用することとされている。

【No. 85】 福祉政策におけるニード(ニーズ)に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 三浦文夫は、「ある種の状態が、一定の目標なり、基準からみて乖離の状態にあり、そしてその状態の回復・改善等を行う必要があると社会的に認められたもの」を社会的ニードとし、個々のニードに共通する社会的な要援護性を強調した。
2. J. ブラッドショーは、ニードを、OECD の基準に従い、等価可処分所得を目安とするものである規範的ニードと、専門家や行政官が、「望ましい」基準と個人や集団の状態とを比較するものである比較ニードの二つに大別した。
3. 西尾勝は、人々が直接表明した行政需要を「行政ニーズ」、行政ニーズに何らかの検討が加えられ、行政が応える価値があると考えられるようになったものを「行政需要」と呼び、行政需要は一定の価値判断を前提にして決定されるものとした。
4. 岡村重夫は、ニーズには生理的ニーズといった低次のものから自己実現といった高次のものに至る5段階があるとし、生理的ニーズを社会生活の基本的要求と位置付けた。さらに、個人がニーズ充足のために利用する社会制度との関係を社会関係と呼び、この社会関係上の困難こそが、社会福祉固有の対象であるとした。
5. ニード充足の方法として金銭給付と現物給付があり、金銭給付よりも更に使途が限定されず、様々なサービスを利用できるものとしてバウチャー方式がある。また、ニード充足の方法論においては、ニード充足を妨げるものとして、個人や団体等を一定の基準に従わせる「規制」がある。

No. 86～No. 90 はⅢ部**科目 11. 社会学(理論)**です。

**科目 1 ～科目 14 のうちの任意の 4 科目を選択し、合計 20 題を解答**してください。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 86】 社会学理論に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. A. シュッツは、行為の理解を目指した M. ヴェーバーの主意主義的行為論に厳密な基礎を与えるために、日常の人々によって実際に「生きられた世界」である生活世界を考察し、社会学者が用いる一次的構成概念としての科学的概念は、生活世界の中で使用される二次的構成概念としての日常知から切断されるべきであると主張した。
2. H. ガーフィンケルが提唱したエスノメソドロジは、人々の方法についての学問を意味し、人々が日常生活における秩序をどのように生み出しているか、その方法を解明することを目指した。また、H. サックスらは「会話すること」それ自体の秩序形成を解明するために、エスノメソドロジの実践として日常会話や電話を録音し、そこでの会話の分析に取り組んだ。
3. K. マンハイムは、知識人の理論的な思考やイデオロギーが、社会的要因によってどのように拘束されているかを解明する伝統的な知識社会学に代わって、日常の人々の知識を対象とする現象学的社会学に基づく現実の社会的構成を提唱し、社会的現実は、共有された知識と人々の相互作用の中から生成されるとした。
4. P. バーガーと W. トマスは、人間と社会の関係を、①社会は人間の産物である、②社会は客観的な現実である、③人間は社会の産物であるという弁証法的な観点から捉え、社会の変化は、生産力と生産関係及びそれらを土台として形成される上部構造の複雑な相互関係によってもたらされるとする唯物史観(史的唯物論)を提唱した。
5. E. ゴフマンは、技術的合理性が支配する産業社会では、技術による支配が人間の思考様式に影響を及ぼすことにより、現実に対する同調的、肯定的思考に終始するスティグマ的人間が形成されるとし、そうした人々が現実の様々な社会問題に対してパッシングを行うことにより、いわゆる一次元的社会が形成されるとした。

【No. 87】 近代社会についての社会学説に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. K. マルクスは、近代の資本制社会において、諸個人はそれまでの共同体的な紐帯を維持したまま、自身の労働力を、生産手段を所有する資本家に売るようになったとした。そして、共同体における人間関係と生産の場における人間関係はいずれ矛盾するようになり、その矛盾が激化して資本制社会は崩壊し共産主義社会に移行すると論じた。
2. É. デュルケムは、近代社会において特徴的な連帯の型として、分業が進展した結果として生ずる有機的連帯を挙げた。これは、成員が類似することを条件とする連帯であり、こうした連帯が主となる社会においては、犯罪者などへの制裁は、当人の財産、名誉、生命などを剥奪することを旨とする抑止的法が優越するとした。
3. M. ヴェーバーは、プロテスタンティズム、カトリック、ユダヤ教といった信仰の相違によって、学歴や職業がどのように異なるかを統計的に比較し、高学歴者、高い威信の職業従事者ではプロテスタントの比率が高いとした。その理由としてプロテスタンティズムの教えが営利を肯定するものであったことを挙げ、プロテスタンティズムと資本主義の関係を論じた。
4. W. リップマンは、人間のアイデンティティとして伝統指向型、内部指向型、他者指向型を挙げ、そのうち伝統指向型を近代社会に特徴的なものとした。この型は歴史的に形成された価値や規範に行動の基準を置くものであり、近代社会のように変化が激しい状況においては、個人は確たる基準を欲して伝統に依拠するようになるとした。
5. I. ウォーラーステインは、16世紀に誕生した近代世界システムは中心と周辺の二層構造となっており、中心はイギリスに限定されると論じた。また、近代世界システムにおいては世界規模で分業が営まれ、モノ、人、情報の移動が激しくなることから、個人も確固たる居場所をもたなくなり、アイデンティティや雇用関係なども短期的になるとし、そうした状況をリキッド・モダニティと表現した。

【No. 88】 G. ジンメルの社会学説に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 社会分化とは、集団の規模が拡大するとともに、集団内部の個人間の差異が高まり個人の個性が発達するという二重の過程であるとした。また、個人の個性の発達を促すもう一つのものとして社会圏の交差を挙げ、それによって、個人ごとに異なる組合せの集団に所属することになるため、個性が発達すると論じた。
2. 現代社会においては、現実には依拠してそれを写し取るのではない、記号存在であるシミュラクル(本来は「模造品」という意味)が現実を構成していると論じた。さらに、現代のシミュラクルの代表例として貨幣をとり上げてその記号的性格を分析し、貨幣とは、例えば負債の返済に見られるように、人間に他者との関係を強制し人格的な自由を奪うものであるとした。
3. 大都市に住む人間は、多くの人間と相互作用を行うことから人付き合いがうまくなり温かい人間となるが、小さい町の人間は、少数の見知った人間と相互作用を行うことから無理に親切にしなくても意思の疎通が可能のため、冷淡な人間になると論じた。また、大都市と人間の精神状態の関係を検討し、「生活様式としてのアーバニズム」を発表した。
4. 社会の認める価値や行動様式を個人が取り入れ社会的な役割を取得していく過程である社会化を重視し、その形式を明らかにすることが社会学の役割であるとして、これを形式社会学と呼んだ。さらに、社会化の形式の具体例として政治的社会化を挙げ、実際に社会に広く受容、実行されている政治的規範や態度、具体的な行動がどのようなものかを研究した。
5. 相手のことが全く分からないとその相手を信じることは合理的とはいえないことから、信頼とは、他者が将来とる行動を完全に知っているからこそ成立するものであると規定した。そして人と人との相互作用には、互いについての完全な知識、すなわち信頼が必要であり、当人間に秘密が存在すると相互作用が崩壊すると論じた。



【No. 89】 N. ルーマンの理論に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 社会システムは、コミュニケーションから構成されるとした。特に近代の社会システムは、環節分化や階層分化によって特徴付けられる前近代のそれとは異なり、それぞれ専門性を高めた法、経済、政治、科学などの領域が独立した部分システムを形成し、各々独自の論理でコミュニケーションを編成するようになるとした。
2. 社会の発展段階の法則を、人間の精神の発展段階から捉えた。具体的には、社会は呪術、多神教を崇拝する神学的段階、キリスト教に見られる抽象的な一神教原理に基づいた形而上学的段階を経て、科学的方法による自然現象の解明やその人間と社会への応用を目指す実証的段階へと至るとする社会進化論を提唱した。
3. 社会有機体論の立場から社会進化の過程を解明しようとした。そして、有機体としての社会が環境に対する適応のパターンから社会の類型化を行い、他の社会システムに対して自己保持を目指す社会と、自然に対して自己保持を行う社会とに区別した上で、一般に、社会は後者の産業的社会から前者の軍事的社会に転換していくと予言した。
4. 社会進化の過程で、社会は、言語メディアによる合意と相互理解によって統合される社会システムと、権力や貨幣といった非言語メディアによって統合される生活世界から形成されるとした。そして、合法的に決定された予算や法律が、利害関係者内部の話し合いによって変更されてしまう事態を、システムによる生活世界の植民地化と呼んだ。
5. システムの構成要素が入れ替わるというオートポイエーシスの考え方を導入した。そして、社会システムの部分システムである政治システムの内部において、隣接する法システムと科学システムの影響を受けながら、システムの持続を目指すキツネ型エリートとシステムの革新を目指すライオン型エリートが交代して権力を掌握するとした。

【No. 90】 次は、T. パーソنزの理論に関する記述であるが、A～Dに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

著作権の関係のため、掲載できません。

A	B	C	D
1. functionalist	<i>The Social Contract</i>	comprehend	<i>Latency</i>
2. functionalist	<i>The Social Contract</i>	maintain	<i>Literacy</i>
3. functionalist	<i>The Social System</i>	maintain	<i>Latency</i>
4. positivist	<i>The Social Contract</i>	maintain	<i>Latency</i>
5. positivist	<i>The Social System</i>	comprehend	<i>Literacy</i>

No. 91～No. 95 はⅢ部**科目 12. 社会学(各論)**です。

**科目 1～科目 14**のうちの任意の**4科目**を選択し、**合計 20題**を解答してください。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 91】 交換理論に関する記述ア～エのうち、妥当なもののみを挙げているのはどれか。

ア. M. モースは、未開社会の民族誌や、ローマ、インドの古代法典などを参照し、贈与に関する考察を展開した。彼は、単純な未開社会における贈与は、その目的が経済的な利得に純化されることにより専ら経済的な交換を意味していたのに対し、より複雑な現代社会における贈与は、道徳的、政治的、法的、審美的であるなど多義的な全体社会現象であると説明するとともに、贈与には、受贈、消費、返礼の義務的三原則が働いていることを指摘した。

イ. C. レヴィ＝ストロースは、未開社会においては親族関係が社会の骨格になっているとし、未開社会の親族現象について、女性の交換を主題とするシステムとして解明した。彼は、この場合の交換について、送り手と受け手の双方間で行われる一般交換と、3以上の主体が関与する特殊な形式としての限定交換に大別し、それぞれの交換システムに対応する婚姻のタイプがあることを論証した上で、関係付けの制度としての限定交換を重視した。

ウ. G. C. ホマンズは、行動心理学に依拠して、社会行動と交換過程に関する一般命題をまとめた。彼は、個人の行動はコストを小さくし報酬を大きくする方向に働き、交換において各人は報酬や利益がコストと比例するような分配の実現を図り、分配が不当で不利益が増すと「怒り」という情緒的行動がより多く示されるとし、ミクロの過程・行為としての交換から社会の成り立ちを説明しようとした。

エ. P. M. ブラウは、分析の対象とする社会的交換について、他者の反応が報酬となっており、その反応が期待されないときには消滅するような行為であり、かつ、諸個人の自発性に由来するものと限定的に規定した。彼は、交換の互酬性には、当事者どうしの対等の結合を促進し社会的統合を生み出す側面と、当事者間に支配と服従の関係を生み出す側面の両面があるとし、交換概念を軸に、社会過程や集団構造の解明を試みた。

1. ア、イ
2. ア、ウ
3. ア、エ
4. イ、エ
5. ウ、エ

【No. 92】 次は、相互行為に関する記述であるが、A、B、Cに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

著作権の関係のため、掲載できません。

A	B	C
1. George Herbert Mead	role taking	the 'I' and the 'Me'
2. George Herbert Mead	role taking	'dramaturgical'
3. George Herbert Mead	civil inattention	the 'I' and the 'Me'
4. Erving Goffman	role taking	'dramaturgical'
5. Erving Goffman	civil inattention	'dramaturgical'

【No. 93】 逸脱に関する理論についての記述として最も妥当なのはどれか。

1. W. F. ホワイトは、参与観察の方法による調査を踏まえて、スラム街において犯罪や少年非行が多発するのは、世代が交代するたびに社会が流動状態になりコミュニティが組織化されないためであると説明した。彼は、社会の流動により伝統的な規範が弱まることによって、逸脱が発生するとした。
2. H. S. ベッカーは、逸脱について、行為の客観的性質に基づき規定されるものであるとし、該当する行為をした者には逸脱者というラベルが貼られるとした。彼は、このラベリングは一過性のものにすぎないとし、逸脱者は合法的な行為と逸脱行為とを漂流する存在であるとした。
3. E. H. サザランドは、他者との関係を通じて、法規範への否定的な意味付けが肯定的な意味付けを上回って習得されたときに、逸脱行動が行われるとした。彼は、親密な私的集団内の他者と対立や葛藤が生じたときに、法規範への否定的な意味付けが始まり、関係性の改善が図られないことによって強化され、逸脱行動に向かうとした。
4. A. K. コーエンは、非行下位文化について、下層階級出身の少年が、中流階級の文化・規範に対する反動形成として生み出すものであるとし、その特徴として、非功利性、破壊主義、否定主義などを挙げた。彼は、この非行下位文化に同調することから非行は生まれるとし、非行集団における非行の発生過程を説明した。
5. E. M. レマートは、社会的反作用との関係で、逸脱を第一次逸脱と第二次逸脱に整理した。彼は、若年時に検挙されるなどして逸脱者としての明確なアイデンティティが構成された上で計画的・意図的に第一次逸脱が行われ、これにより社会的反作用が引き起こされて社会適応が困難となり、社会規範を取り込む機会を逃した結果、第二次逸脱へ移行するとした。

【No. 94】 家族に関する学説についての記述として最も妥当なのはどれか。

1. E. リトウォクは、「修正拡大家族」概念に対する批判として「孤立核家族」概念を提唱した。彼は、調査の結果、移動性や地理的な距離は拡大家族間のつながりを阻害し、また、拡大家族志向が強ければ縁故主義が強化され、人々の移動を阻害することを明らかにし、拡大家族では産業社会の要請には応えられないとした。
2. E. ゴフマンは、家族を人間のパーソナリティの「工場」と表現し、その主な機能として子供の社会化と成人の安定化を指摘した。また、家族内には経済の安定化など家族の外的な機能に対応する顕在的機能と、情緒的な安定化など家族の内的な機能に対応する潜在的機能の二つの機能が存在することを指摘し、両機能は夫婦間の区別なく果たされるとした。
3. G. P. マードックは、核家族について、一組の夫婦と未婚の子供から構成される家族とした上で、これは近代社会以降になって初めて誕生したものであり、将来的には核家族としての家族形態は増加していくと述べた。さらに、核家族の機能を経済的な共同生活と子供の教育の二つに大別した。
4. P. アリエスは、近代化の中で家族と感情が結びつく過程を感情革命と表現した。彼は、前近代社会においては、諸関係領域の中で感情が生じても社会的に抑圧されていたが、近代化とともに、男女、母子、家族の三領域のうち、家族領域に限り感情が重要視されるようになったとし、家族愛の誕生が社会との境界を明確にし、プライバシーを誕生させたとした。
5. E. W. バージェスと H. J. ロックは、法律や慣習等の社会的圧力によって結び付けられていた制度家族が、産業化や都市化の進行によって、相互の愛情を基礎にして平等・対等の関係に基づくことを理念とした友愛家族へと変容していくとし、米国における家族の姿を類型化した。

【No. 95】 階級や階層に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. K. マルクスは、所有する資産の多寡によって、労働者階級を更に即自的階級と対自的階級に分けた。そして、これらが階級利害によってそれぞれ団結すると、労使間のみならず、即自的階級と対自的階級との間で経済的利害をめぐる闘争が始まるとした。
2. M. ヴェーバーは、階級状況を規定するものとして経済的要因を否定し、専ら生活様式や出自、職業に基づく威信によって階級状況は規定されるとした。そして、そうした階級状況は、社会的評価という点で人々に特権を付与するものであるとした。
3. P. A. ソローキンは、階級を、支配階級、中間階級、庶民階級の三つに分類した。そして、文化資本が支配階級から中間階級を通して庶民階級に受け継がれることで、階級が再編され格差が縮小していくとし、これを文化的再生産と呼んだ。
4. 階層とは、一定の社会的地位を共有する人々の集合体のことをいい、階層間の敵対的な関係や搾取・被搾取など質的な相違を前提とした概念である。階層間の移動の可能性を、地位の非一貫性といい、地位の非一貫性が高いほど、相対的に機会が平等な社会とみなされる。
5. 階層移動には、世代間移動や世代内移動があり、これらは社会構造の特徴や変化をあらわす指標の一つとされる。階層移動の研究は、大規模社会調査によって支えられており、我が国においては、継続的にSSM調査が行われている。

No. 96～No. 100 はⅢ部科目 13. 社会心理学です。

科目 1～科目 14 のうちの任意の 4 科目を選択し、合計 20 題を解答してください。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 96】 次は、社会的比較に関する記述であるが、A～Eに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

ただし、Bには㊦又は㊧のいずれかが入る。

自己と他者を比較することを社会的比較といい、 によって社会的比較過程理論として理論化された。彼によると、人は  という動因をもつとし、それを達成するために自己と他者とを比較するのだという。その後の研究においては、社会的比較が自己高揚動機と関連し、他者との比較を通して自己の自尊心を高める、もしくは低めることを防ぐことにつながるということが明らかにされている。

社会的比較において、自らよりも優れた他者と比較することを上方比較と呼ぶ。上方比較の結果として、自らの方が劣っていると評価されたとき、 によって自尊心の低下を招くおそれがある。ただし、上方比較は必ず自尊心の低下を招くわけではなく、 によって、自尊心が上昇することがある。代表例の一つには、自己と特定の他者との間の心理的結び付きを強調することによって生じる  がある。

Bの候補

㊦：自己を正確に評価したい

㊧：他者よりも優れていたい

A	B	C	D	E
1. L. フェスティンガー	㊦	対比効果	同化	栄光浴
2. L. フェスティンガー	㊦	同化	対比効果	同調
3. L. フェスティンガー	㊧	同化	対比効果	栄光浴
4. F. ハイダー	㊦	同化	対比効果	栄光浴
5. F. ハイダー	㊧	対比効果	同化	同調



【No. 97】 リーダーシップ研究に関する記述ア～エのうち、妥当なもののみを挙げているのはどれか。

ア. リーダーシップ・スタイルに着目した研究は、優れたリーダーがどのような行動をとっているのかを明らかにしようとする行動アプローチに基づいている。これらの研究の多くは、リーダーの行動を目標達成のための行動と人間関係維持のための行動という二つの次元に大別する点において共通しており、代表的なものに PM 理論が挙げられる。

イ. K. レヴィンは、未熟な成員が熟達するまでの組織の発達過程に着目し、その発達段階に応じたリーダーシップの在り方を示す SL 理論を提唱した。この理論においては、成熟度が低いときにはメンバーに権限を委譲するリーダーシップが効果的であり、成熟度が高まるにつれて指示的なリーダーシップが効果的であると仮定されている。

ウ. コンティンジェンシー理論は、状況に応じて効果的なリーダーシップが異なるという考え方に基づいており、F. E. フィードラーが先駆けと言われる。彼の LPC モデルによると、リーダーが組織をコントロールしやすい状況にあるか否かによって、課題志向型と関係志向型のリーダーシップのいずれが有効かは異なるという。

エ. B. M. バスらは、リーダーに求められるものは成員が目標を達成するために通るべき道筋を適切に示すことであるという考えに基づき、そうした役割を果たすのが、変革型リーダーシップであるとした。変革型リーダーシップを有する成員がその集団においてどのようにして他の集団成員に影響力を及ぼしていくかを説明するものに、黒い羊効果がある。

1. ア、イ
2. ア、ウ
3. ア、エ
4. イ、ウ
5. ウ、エ

【No. 98】 集団意思決定に関する記述ア～エのうち、妥当なもののみを挙げているのはどれか。

ア. 個人で判断するよりも集団討議を経た後の集団の決定の方が、一層リスクの高い選択がなされる傾向があることが確認されており、こうした現象をリスク・シフトという。また、集団の決定の方が安全・保守傾向を増幅させるという正反対の現象も存在し、これをコーシャス・シフトという。いずれも、集団メンバーが当初有していた意見の分布において優勢だった傾向が、集団討議を経てより極端になるという集団極化現象として捉えられている。

イ. 集団意思決定の際、多くのメンバーが共有している情報に関してはあえて取り上げて議論されることが少ない一方、特定のメンバーのみが持っている情報の全体への共有に多くの時間やエネルギーが消費されるという歪みが生じやすい。これを確証バイアスという。結論が急がれているなど議論時間の制約や、メンバーが他のメンバーから支持承認を得たいと思っているなどという心理的対人的欲求がある場合、この傾向は強まりやすい。

ウ. 集団極化現象が起こる原因を説明するものとして、社会的促進の結果生じるとする説や、説得的論拠説がある。前者では、話し合いを通じて他者の態度を知るだけで集団極化が生じるのに十分と考えるのに対し、後者では、極端な態度を正当化する様々な論拠が話し合いで共有されることが必要と考える。集団での話し合いはせずに、単に各人の意見をカードに書いて見せ合うだけで個人の態度がリスクを好む方向に変化することが示されたという実験結果は、後者を支持する。

エ. I. L. ジャニス(Janis, I. L., 1982)は、集団の決定が失敗を招いたケースを収集・分析し、集団思考(groupthink)又は集団浅慮と呼ばれる概念を提唱した。彼によれば、集団の高い凝集性、公平なリーダーシップの欠如などの構造的欠陥、集団がストレス状況に置かれているなどの状況的文脈が揃うと、集団において意見の一致を求める傾向が強くなり、集団思考の兆候が見られるようになる。ただし、その後の実証的検討では、集団の凝集性の高さが必ずしも集団思考に結び付くとは限らないことが指摘されている。

1. ア、イ
2. ア、ウ
3. ア、エ
4. イ、ウ
5. イ、エ

【No. 99】 人事評価における評価バイアスに関する記述A～Dのうち、妥当なもののみを挙げているのはどれか。

- A. 評価者が、被評価者と自分あるいは被評価者間を比較して評価する傾向の一つとして対比誤差(contrast error)がある。例えば、評価者が専門としていたり得意としていたりする事項については被評価者に対して低い評価を与え、そうではない事項については高い評価を与える傾向にあることなどが挙げられる。
- B. 評価者が、被評価者の行動の原因を説明する際に、状況や環境の要因に比べ、被評価者の内的要因を過大に評価する傾向を基本的な帰属のエラー(fundamental attribution error)という。例えば、部下がある課題で良い成績を収めたとき、上司は合理的に判断する以上にその結果を部下の能力や努力に帰属させやすいことなどが挙げられる。
- C. 評価者が、極端な評価を避け、全体的に「標準」や「普通」など尺度の中間的なところに評価が集中する傾向を寛大化(leniency)という。この傾向は、評価に対する評価者の自信の有無とは関係なく、評価者が被評価者に嫌われたくない、煩わしい課題から逃れたいといった態度をとるときに起こりやすい。
- D. 二つの評価要素間に関連があると評価者が自分の論理で判断し、関連がありそうな要素に対して同じような評価を下す傾向をハロー効果(halo effect)という。例えば、字がきれいな被評価者は性格も几帳面であるとか、声大きい<sup>き</sup>がゆえに仕事に意欲的であるなどと類推して評価する場合が挙げられる。

- 1. A、B
- 2. A、C
- 3. B、C
- 4. B、D
- 5. C、D

【No. 100】 次は、消費者行動に関する記述であるが、A～Dに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

広告が消費者に与える心理的・行動的影響を説明するために多くのモデルが提案されてきたが、代表的なモデルとしてはAIDMA(アイドマ)モデルが挙げられる。このモデルでは、消費者のプロセスが「Attention(注意)→Interest(関心)→→Memory(記憶)→Action(購買)」と推移すると主張している。このモデルは、企業が消費者に対して、どのようなアプローチを行うかを考える際に役立つものであったが、近年のインターネット時代に応じた消費者の購買プロセスを説明し得るものとして、AISAS(アイサス)モデルが提唱されている。このモデルでは、消費者は「Action(購買)」の後には、「」を行うとされている。

また、消費者の態度変容や行動変容は広告だけではなく、店頭において販売員を介して行われる場合も多い。このときに使われる説得のテクニックとして、以下のものがある。例えば、街頭でのキャッチセールスにおいて、商品を勧める前に「アンケートの依頼」を行うといったように、簡単に応じることができる依頼をして応諾をさせた上で本命の依頼をするという手続を踏むと、より依頼に応じやすくなることが実証されている。こうしたテクニックをテクニックという。その他のテクニックとしては、例えば、1,000円の商品を買おうか迷っている時に、店員から「もうすぐ閉店なので800円でいいですよ」と言われると買う気になるといったものがあり、このようなものをテクニックという。この有効性については、J. M. バーガー(Burger, J. M., 1986)により実証されている。

A	B	C	D
1. Desire(欲求)	Share(共有)	フット・イン・ザ・ドア	ザッツ・ノット・オール
2. Desire(欲求)	Share(共有)	ロー・ボール	ドア・イン・ザ・フェイス
3. Desire(欲求)	Sell(売却)	フット・イン・ザ・ドア	ドア・イン・ザ・フェイス
4. Decision(決定)	Share(共有)	フット・イン・ザ・ドア	ドア・イン・ザ・フェイス
5. Decision(決定)	Sell(売却)	ロー・ボール	ザッツ・ノット・オール

No. 101～No. 105 はⅢ部**科目 14. 現代社会論**です。

**科目 1～科目 14**のうちの任意の**4科目**を選択し、**合計 20題**を解答してください。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 101】 情報技術と社会との関係に関する概念についての記述として最も妥当なのはどれか。

1. デジタル・デバイドとは、もともと情報端末や通信方式などの様々な情報技術の違いそれ自体から生じる通信速度の差異を意味したが、近年では SNS において、好みや意見の類似する人々どうしが互いにフォローし合うことにより、自分たちとは異なる好みや意見との接触機会が失われている事態を指す。
2. デジタルネイティブとは、世界でテレビが本格的に普及する 1950 年代以降に生まれた世代を指す。この世代が消費の中心となることで、ドラマやアニメなどのコンテンツの消費の在り方が、新しい作品をその都度楽しむ消費から、データベース消費と呼ばれる、過去の作品を好きなときに繰り返し鑑賞する消費へと変化したといわれている。
3. ビッグデータとは、ubiquitousness・unusualness・utility という三つの U で表現される性質を兼ね備えた大量データのうち、政府や企業によるアンケート調査によって収集されたものを指す。通常、データ・アーカイブと呼ばれる大学等の研究機関によって保存され、社会科学研究に積極的に利用されている。
4. DX(デジタルトランスフォーメーション)とは、経済産業省の「デジタルガバナンス・コード 2.0」によると、企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立することを意味する。
5. リーフログ型発展とは、医療体制、銀行口座の保有率、交通網などの社会インフラがもともと充実している先進国において、新たにスマートフォンやインターネットを利用したサービスが加わることにより、社会生活のデジタル化が短期間で飛躍的に進展する事態を指す。例として、我が国におけるマイナンバーカードの普及や行政サービスの電子化などが挙げられる。

【No. 102】 社会運動に関する記述A～Dのうち、妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。

- A. 1930年代に大衆と呼ばれる人々が台頭し、貧困や差別を生み出す社会構造に対する感情的な強い憤りや不満から社会運動の主な担い手となると、運動組織の戦略的側面や合理的側面を重視してきたこれまでの集合行動論に代わって、人々を動員する運動の情動的な性格、非合理的な性格に注目する資源動員論が社会運動研究の主流となっていった。
- B. 1960年代から1970年代に西欧社会で起こった学生運動、女性運動、環境運動、平和運動などを受けて提起された「新しい社会運動」は、運動の目標、活動の方法、運動を支える価値観といった側面において、伝統的な労働運動と大きく異なり、自らの生活様式の防衛や集合的なアイデンティティへの志向といった点にその特徴がある。
- C. 社会運動におけるフリーライダーとは、これまでの運動研究が注目してきた、運動に参加してそこから利益を得る人々や、運動に参加せず利益も得ない人々に対し、自分自身の主義・主張に基づき、自由意志によって参加する良心的支持者を指すが、こうした人々は運動のコアメンバーではないため、一般に、運動の成否には影響を及ぼさないと考えられている。
- D. 2011年に起こったジャスミン革命とは、ニューヨークの金融街において、SNSによる呼び掛けに応じた市民が格差や貧困に抗議して行った占拠運動であり、その後、東欧革命にも大きな影響を及ぼした。ジャスミン革命の名は、占拠運動に参加した人々が、ジャスミンを手にしてウォール街を占拠したことに由来している。

1. A
2. B
3. A、C
4. B、D
5. C、D

【No. 103】 エスニシティに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. A. D. スミスは、共通のアイデンティティの感覚をもつ歴史的な文化共同体であるネーションが基盤となって、近代的なエトニーが構成されるとした。彼は、エトニーについて、実体としては存在しないが、同質的な時間と同一の空間を共有しながら進む共同体として人々の心の中に想像されるとし、人々がその共同体の一員としての意識をもち、自分自身の存在と運命を同じくするものと捉えるところに特徴があるとした。
2. R. E. パークらは、異なる背景をもつ人々が出会い、集合して社会生活を営むに至るプロセスについて考察した。彼らは、異なるエスニック・グループが接触すると、競争、葛藤(闘争)、応化、同化の過程が順に進行するとし、このプロセスはエスニック・グループに限らず、異なる集団間の相互作用に適用できるものであるとした。
3. E. W. サイドは、従来、芸術や学問の様式を指して用いられていたオリエンタリズムについて、西洋を支配し再構成して威圧するための東洋の様式であると批判的に捉え直す新しい概念規定を行った。彼は、再定義したオリエンタリズムが、差別や排他主義を引き起こすだけでなく、あらゆる文化に優劣を付けて文化の相対的序列化を図る文化相対主義を拡大させるとした。
4. J. アーリは、エスニック・グループの境界を示す文化的な特徴や成員の文化的特性が固定化されることを前提に、異なる文化的背景をもつエスニック・グループが接触した際の境界の形成や維持の在り方について研究した。彼は、境界の形成により複数の異なる社会集団に身を置くことになり、そのいずれにも完全に帰属したことによって独特な社会的地位とパーソナリティ特性を示すこととなった者を、マージナル・マンと定義した。
5. 我が国において、在留外国人統計\*で在留外国人数をみると、日系二世・三世に在留中の活動制限を伴わない在留資格を与える出入国管理及び難民認定法の改正があった平成2年以降、一貫して増加している。在留外国人数の増加に伴い、地域社会における多文化共生を推進していくため、同法において、市町村には多文化共生アドバイザーの配置が義務付けられている。

\* 法務省出入国在留管理庁発表(令和4年6月末現在)

【No. 104】 リスクに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 正常性バイアスとは、「オオカミ少年の寓話」とは反対に、「自分たちのいる場所だけは安全である」といった日常生活に対する信頼や安心が、繰り返し避難指示が出されることによって失われる状態を指す。こうした正常性バイアスが形成されることによって、災害時に命を守る適切な避難行動をとることができるようになるとされる。
2. ドイツの経済学者 F. エンゲルスは、『災害ユートピア』において、大きな自然災害や戦争・革命が起こると被災者や支援者が互いに敵対的な感情を抱き、自らの利益と安全のみを追求する利己的行動をとるだけでなく、そうした行動が道徳的に正当化されてしまう事態に陥るとした。実際に、そうした非常事態が 1900 年代以降世界各地で確認された。
3. リーマン・ショックとは、ドイツの数学者 B. リーマンがサブプライムローンの破綻を予測したことによる予言の自己成就の結果、ニューヨーク連邦準備銀行が実際に経営危機に陥ったことを指し、そのことに起因して世界同時不況が起こった。最終的に同銀行には公的資金が投入され、経営破綻は回避された。
4. 持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)を意味する SDGs は、2015 年に開催された APEC 首脳会議において採択されたものの、気候変動の影響を軽減するための取組が企業収益の悪化を招くとして、企業への投資条件として SDGs への取組が評価されず、また、そこに新しいビジネスチャンスを期待することができない状態にある。
5. ドイツの社会学者 U. ベックは、現代社会は、コントロールが困難で不可視的で複雑な影響をもたらす「リスク」が増大する社会であるとした。またこうしたリスク社会では、財や富の分配をめぐる闘争が起こった産業社会とは異なり、様々なリスクをいかに回避するかをめぐるコンフリクトが生じるとした。



【No. 105】 我が国における犯罪被害の状況に関する記述A、B、Cのうち、妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。

なお、データは『令和3年版 犯罪白書』による。

- A. 人が被害者となった刑法犯の認知件数の推移(最近30年間)を見ると、平成14年までは増加傾向にあったが、同年をピークとして、それ以降は減少し続け、令和2年は平成14年の5分の1以下となっている。
- B. 令和2年における人が被害者となった刑法犯の認知件数を主たる被害者の年齢層別\*・主な罪名別に見ると、認知件数総数に占める65歳以上の割合は15%を超えており、罪名ごとの認知件数総数に占める65歳以上の割合が最も高いのは、詐欺である。また、各年齢層別に女性被害者が占める割合が最も高いのは、65歳以上である。
- C. 令和2年における刑法犯の検挙件数について、主な罪名ごとに、被害者と被疑者との関係別の構成比を見ると、殺人と放火はいずれも「面識なし」、「面識あり」、「親族」の順に多いのに対し、強制性交等は「面識なし」、「親族」、「面識あり」の順に多い。

\* 13歳未満、13～19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～64歳、65歳以上

- 1. A
- 2. C
- 3. A、B
- 4. A、C
- 5. B、C

(科目別構成の詳細)

科 目	出題数	問題番号	ページ	解答題数
<b>I部 必須問題</b>	5題	No. 1~No. 5	1~5	5
<b>II部 選択A、選択Bから一つ選択</b>	(30題)	(No. 6~No. 35)	(7~39)	15
選択A(心理系)	15題	No. 6~No. 20	7~24	
選択B(教育・福祉・社会系)	15題	No. 21~No. 35	25~39	
<b>III部 14科目から4科目選択</b>	(70題)	(No. 36~No.105)	(41~112)	4科目選択 20
科目 1. 認知心理学	5題	No. 36~No. 40	41~46	
科目 2. 臨床心理学	5題	No. 41~No. 45	47~52	
科目 3. 教育環境学	5題	No. 46~No. 50	53~57	
科目 4. 教育心理学	5題	No. 51~No. 55	58~62	
科目 5. 教育経営学	5題	No. 56~No. 60	63~67	
科目 6. 教育方法学	5題	No. 61~No. 65	68~72	
科目 7. 社会福祉総論	5題	No. 66~No. 70	73~77	
科目 8. 社会福祉各論	5題	No. 71~No. 75	78~82	
科目 9. 福祉計画論	5題	No. 76~No. 80	83~87	
科目10. 地域福祉論	5題	No. 81~No. 85	88~92	
科目11. 社会学(理論)	5題	No. 86~No. 90	93~97	
科目12. 社会学(各論)	5題	No. 91~No. 95	98~102	
科目13. 社会心理学	5題	No. 96~No.100	103~107	
科目14. 現代社会論	5題	No.101~No.105	108~112	
<b>合 計</b>				<b>40</b>

**解答方法**

I部の必須問題5題(No. 1~No. 5)を全て解答するとともに、II部の選択A又は選択B(それぞれ15題ずつ)からどちらか任意の一つ、及び、III部の14科目(各科目5題ずつ)から任意の4科目(20題)を解答し、合計40題を解答してください。

## C1C2-2023 人間科学 専門(多肢選択式)

## 正答番号表

No	正答	No	正答	No	正答	No	正答
1	2	31	1	61	3	91	5
2	4	32	3	62	2	92	5
3	1	33	5	63	1	93	4
4	2	34	4	64	5	94	5
5	4	35	1	65	2	95	5
6	1	36	2	66	5	96	1
7	1	37	5	67	4	97	2
8	5	38	2	68	3	98	3
9	3	39	2	69	4	99	1
10	4	40	4	70	1	100	1
11	5	41	2	71	2	101	4
12	2	42	4	72	3	102	2
13	1	43	1	73	2	103	2
14	3	44	2	74	1	104	5
15	4	45	5	75	1	105	3
16	2	46	2	76	5		
17	1	47	2	77	3		
18	1	48	1	78	4		
19	1	49	5	79	3		
20	3	50	4	80	3		
21	3	51	1	81	4		
22	4	52	4	82	2		
23	1	53	4	83	4		
24	4	54	2	84	5		
25	4	55	4	85	1		
26	5	56	1	86	2		
27	2	57	3	87	3		
28	5	58	4	88	1		
29	3	59	3	89	1		
30	2	60	5	90	3		